

TOKYO PAPER

トーキョーペーパー
for Culture

フォーカルチャー

人生には小さくも大きくも勝負どきがある。その瞬間に湧き上がる躍動感、同時につきまとう失敗や後悔への恐れは、この身体にしっかりと染み付いている。1964年から2020年へ。56年という年月を越えて、オリンピックが再びこの街に降り立つとき、私たちは世界の真剣勝負を通じて、身体に染み付いた人生の一片を垣間見るのだろうか。さて、第六号を迎えた『TOKYO PAPER for Culture』。ささやかではあるけれど、前回のオリンピックから今年で50年、という記念の年に敬意を込めて、今号も東京の文化を研究していきます！

In life, we all experience triumphs and defeats, whether large or small. Both the elation that wells up in that moment and a haunting fear of failure or regret are deeply ingrained in us. From 1964 to 2020. When the Olympics land in our city once more after 56 long years, will the sight of competitors from across the globe facing off against each other offer a glimpse of a fragment of the lives in which those bodies are steeped? Welcome to the 6th issue of the TOKYO PAPER for Culture. In this issue, our research into Tokyo's culture pays modest homage to the fact that this year marks 50 years since the Olympics were last held in our city!

第六号 / 006

トーキョースポーター

全プログラム紹介！「東京クリエイティブ・ウィークス2014」

躍動する街、この身体

清水ミチコ(タレント) × 古川日出男(作家) × 為末大(アスリートソサエティ代表理事)

研究テーマ⑥：1964から2020へ

モダンデザイン × 東京オリンピック



1964年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されてから今年で50年。そんな記念の年に想いを込めて、集合場所は原宿駅と国立代々木競技場の間を結ぶ、原宿五輪橋。オリンピック開催時に整備された五輪橋の欄干に刻まれた五輪競技のレリーフや装飾を眺めながら、ざっくばらんに座談会、スタートです！

古川日出男 (以下古川)：東京は、関東大震災や東京大空襲などによってまっさらになってしまいましたよね。もっとさかのぼると江戸時代には街中に大火が頻繁に発生して、その度に街を作り直している。そういう歴史的背景もあって、他の国の大都市と根本的に造りが違うというか、作って壊して作る、というのが、東京の宿命のようになっていて、とにかく新陳代謝が激しい街という印象があります。

清水ミチコ (以下清水)：新陳代謝と言えば、私のレパトリーには、黒柳徹子さんやユーミン(松任谷由実)さん、桃井かおりさんなどいらっしゃるんですけど、みなさん東京出身なんです。みなさん共通して「しょうがないじゃない」という言葉が似合うんですね(笑)。諦めが早いというか「できないのだから次」という感覚が東京の土地柄というか。これは今の新陳代謝のお話と繋がる気がして。

為末 大(以下為末)：面白い視点ですね(笑)。

清水：地方出身の方だと、もう少し粘る、頑張るっていう感じがあるんです。だから東京のカラッとして諦め早く次に行く感じ、それは個性だなと。

為末：以前、都市開発をしている方と話したときに、「東京の特徴は全体を見通さず、個別にここを埋めなければというパッチ

ワーク的感覚で開発されているのに、いざ街全体を俯瞰してみると、それなりに調和が取れている不思議な街」というような話になって。それがとても印象深かったです。
古川：それ、日本建築の特徴だって聞いたことがあります。設計図を引かずに空間を作って、出来たらじゃあ隣の空間も作って……とかやっていくうちに建物が完成する。その手法は西洋建築と逆らしいですね。

為末：今のお話で思い出したんですけど、最近僕、細胞について面白い事実を知って。

清水：細胞!?

為末：僕は今まで身体のどこかが司令塔になっていて、「あなたは爪になりなさい」とか、1つの細胞に指示しているようなイメージを持っていたんですけど、実際はそうではなくて。細胞は、実は自分の隣の細胞と連携を取りながら、役割を決めているらしい。

一同：へ〜!

為末：これは福岡伸一(生物学者)さんの本(『動的平衡』)を読んで知りました。本のなかでは“細胞は空気を読む”というように書かれていて面白くなって。で、古川さんの東京の家のお話とこの細胞はちょっと通じる部分があるなあと。

古川：つまり東京は、人体のようなもの。

清水：だとしたら、血管が滞りやすいのが欠点ですね。東京は渋滞しやすいですもんね。

一同：笑。

為末：2020年、東京には何が起きているんでしょうね。想像するにはまず1964年のオリンピックで起きたことを知るのがいいと思って調べました。東海道新幹線、首都高速、東京モノレールの開通に、セコム、ホテルニューオータニの創業。冷凍食品がスタートしてデザインの世界ではピクトグラムが採用、そしてオリンピックを



浅井裕介「植物になった白線@代々木公園」 Yusuke Asai “Yoyogi Park Hakusen Project”

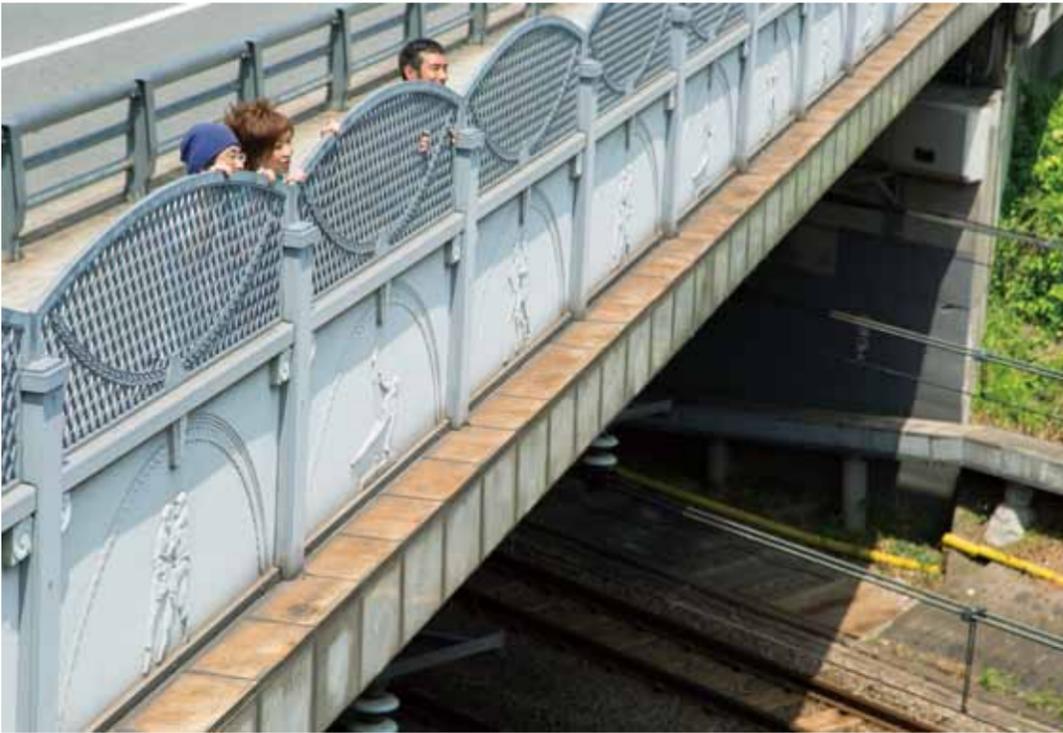
躍動する街、この身体

オリンピック然り、人類の営みのなかで身体活動は高度な文化として熟成されていきました。

そこで今号は定番の研究テーマ“東京文化”に“身体性”を加えて、座談会を敢行！身体と深い親和性を持つお三方、清水ミチコさん(タレント)、古川日出男さん(作家)、為末 大さん(アスリートソサエティ代表理事)を客員研究員としてお招きしました。

Physical activity has developed into a form of high culture in human society, as evidenced by events such as the Olympics. To that end, we held a roundtable discussion on this edition's theme, “Tokyo Culture,” with the added nuance of “physicality” thrown into the mix. We invited Michiko Shimizu (entertainer), Hideo Furukawa (author) and Dai Tamesue (Representative Director, Athlete Society), as “guest researchers” to participate in the roundtable discussion. All three have a deep relationship with the physical.





客員研究員の証は
このロゼット！

This rosette shows
that they're our
guest researchers!

Michiko Shimizu

Hideo Furukawa

Dai Tamesue

機にカラーテレビが普及され始めました。

古川：6年後のオリンピックはみんな何を通して見るんでしょうね。テレビでは見えていないかもしれない。

清水：パブリックビューイングのような、集まって見る場所が求められていそう。

為末：個人で見るだけじゃなくて、みんなで見る、ということが大事な時代。

清水：不思議ですよね。個の時代と言われながら“みんな”が好き。

古川：あと生身の力が欲しい時代。

清水：わかります。私のまわりやミュージシャンもライブのチケットは売れているのにCDは売れなかつたりして、今の時代、生の場が強く求められている感じが濃く

伝わってきます。

古川：生身視点でいうと、最近、僕は小説を半分手書きに変えたんです。パソコンだと手癖で何も考えずに書いてしまうようなことがあって、これでは自分がだめになると、万年筆で書き始めて。

為末：認知心理学の実験で、割り箸を口に咥えながら、何か面白いものを見ると、2割増して面白くなるという結果が出ていました。要は割り箸によって口角があがっているから……、

清水：それで脳に面白いと予感させて。

為末：そうなんです。つまり身体が先にしてしまったことによって、脳に刺激が返ってくるっていうのが確認されつつあって。だ

から手で書くというアウトプットの仕方が、古川さんのインプット自体に影響を与えているっていうのは実際あるんじゃないかと。

古川：白紙の原稿用紙に文字を埋める。それは1マスごとにスタートラインが引いてある緊張感があって、そういうなかで書くことが、物語全体に影響する気がします。

清水：あえて自分に負荷を……、

古川：かけたいということですね。

為末：負荷って非効率でもありますよね。でも、そもそも文化は、ほとんどの場合が非効率から生まれている。

古川：走ることもそうですし、お祭り自体が非効率なもの。

為末：そういうなかでグローバルイゼーショ

ンという名の効率化は、文化に対して極めて恐ろしい役割を持っていると思うんです。

古川：その街固有の文化を失ってしまう原因にもなり得ます。

清水：色んなものが効率的になることで、なんとなくその人らしさ（みたいなもの）が失われてしまいますよね。

古川：まさに人間らしさは非効率ですよ。ところで負荷に関する部分でもうひとつ挙げると、走る距離が違えば身体作りも変わるように、小説の上でも短編・中編・長編と書く長さによって体をチューニングして、ちゃんとその長さを走り切るように管理しないと書けないんです。やっぱり人は、突然記録は出せないものだから。



An Energetic Town – The Physical

清水：書いている途中で長距離ランナーのように、脳内麻薬のようなものが出てくることありますか？

古川：ありますね。

清水：その快感たるやほかにないのでは。

為末：それをスポーツの世界では“ゾーン”と言います。夢中の状態のことですね。

清水：私もお客さんの前に立ったとき、「一所懸命練習したんだから、これを観てもらいたい！」ではなく、まずは自分を楽んな状態に持っていきたいと思っています。“お客様は神様”とかがあって思っていると、案外ウケないのに、極端な話“お客さんなんか”と思って自分を適当にしておくと、不思議と自由になれて、それがお客さんにも伝わっていく。その空気をいかにお客さんに共有・共感してもらえるかが、ライブでは一番大事なことです。ステージではピアノを弾く事も多いので、堅くならずにいかに自分をリラックスさせるか、ヘラヘラ遊ばせるような感覚に持っていきけるとなぜか上手くいく(笑)。

為末：無邪気に振る舞うことが、最も人の共感を集めるってありますよね。

古川：相手に合わせないということ。

清水：私の場合、「(モノマネ)そっくりだけど違うじゃん！」っていう、言わば脳の錯覚みたいなものが基本にあって。だから夢中

でその人になりきりはするけれど、作り込みすぎないように気をつけています。お客さんって、滲むような努力を感じてしまうと、これまた笑えなくなるものなんですよ。

為末：今のお話を伺いながら、思ったんですが、僕、人のスピーチを聞くのが結構好きなんですけど、歴史上の重要なスピーチって、ほとんど「I」から始まるんですよ。「I have a dream」から始まって、最後は「We have a dream」になる。だから清水さんの、自分が夢中になる、「I」から始まって「We」になるって、皮肉だけど面白い。

古川：自分と社会の関係を突き詰めると、結局「We」の中に「I」があるという考えになりますよね。僕も読者に気持ちよくってもらうことが最終目的だから。

為末：だけど、浅い領域で「We」を狙いにいくと……、

古川：「I」が目立ちただけになる。それではきっと関係は築けない。

為末：報われない、この社会に受け入れられなくても構わないっていう「I」から始まる「We」が、何か、一番確かで強いっていう。

清水：その「I」は非効率を抱えた「I」。

為末：やっぱり非効率がキーワードかな。これからの東京には非効率が必要である。これでまとまったでしょうか(笑)。



Hideo Furukawa: Looking at Tokyo's history, at its earthquakes, fires and bombings, I feel that its fate is to be continuously reborn. Tokyo gives me the impression of severe renewal.

Michiko Shimizu: I see what you mean – I often do impersonations of Tokyo celebrities, and they always have an air of “It can't be helped”. (laughs) Celebrities from outside of Tokyo tend to be a bit more rooted, I feel. So Tokyo seems to be pretty good at moving on to the next thing when something doesn't work out.

Dai Tamesue: That's an interesting way to look at things. (laughs) A while back, I was talking to someone working in city planning, and what they said really struck me. They said, “Tokyo's not like Western cities – even though it's founded on a patchwork of ideas, if you look at the city as a whole, it's got this strange way of being in harmony with itself”.

Furukawa: I've heard that's a feature of Japanese architecture too. Before they even draw up a blueprint, the architects set aside a 'space', and then immediately move on to the next 'space,' until the building is finished.

Tamesue: That reminds me of something I recently learned about cells. Apparently, cells partner with the other cells around them to divvy up which one does what.

All: No way?!



為末 大
Dai Tamesue

1978年広島生まれ。400mハードルで世界陸上ではスプリント種目・日本人初となる2つのメダルを獲得。オリンピックでは2008年北京大会までの3大会に連続出場。現在、一般社団法人アスリートソサエティ代表理事を務める。

Born in 1978 in Hiroshima, Dai was the first Japanese person to win two medals at the World Championships in Athletics for the 400m hurdles. He's competed in three Olympic Games, the most recent being the 2008 Olympics in Beijing. He is a representative for the director of the General Incorporated Association Athlete Society.

Tamesue: In his book *Dynamic Equilibrium*, Shinichi Fukuoka (a biologist) wrote once that “cells are sensitive to the mood around them”, which I thought was interesting. It kind of connects with what Furukawa story about houses.

Furukawa: So you're saying that Tokyo's like a human body.

Shimizu: In that case, its arteries are probably pretty clogged. Tokyo's got a lot of traffic.

All: (laughter)

Tamesue: I wonder what Tokyo will be like in 2020?

Furukawa: I wonder what people will be using to watch the Olympics in six years.

Shimizu: I feel that there are a lot of cries for the city to increase the number of public viewing areas, where people can gather and watch the Games together.

Tamesue: It's important that you share the viewing experience, rather than watching alone.

Shimizu: It's strange – even though we're living in what's called the 'individual age', the concept of 'togetherness' is still important.

Furukawa: It's also an age where we want some flesh-and-blood power. Recently, I've been writing about half my novels by hand.

Tamesue: Also, a recent psychology experiment showed that people find things 20% more interesting when they have chopsticks in their mouths. Apparently the chopsticks bring the corners of the mouth up...

清水ミチコ
Michiko Shimizu

岐阜生まれ。構成作家を経て、1986年よりライブ活動をスタート。以後、テレビ、ラジオ、映画、エッセイ執筆など幅広く活動。ピアノの弾き語りによるモノマネは圧巻。初の作り込み映像集『私という他人』が発売中。

Born in Gifu, Michiko Shimizu debuted on live activity in 1986. Before her debut she was a writer, a field she still contributes to. To date she's appeared on TV, radio and movies, and her impersonations via solo accompaniment on the piano is particularly famous. Her DVD photo collection, *Me, the Stranger*, is in stores now.

Shimizu: And that tricks the brain into thinking things are interesting?

Tamesue: Exactly. They confirmed that putting the body into action has a direct impact on the brain. Maybe that's why writing by hand helps.

Furukawa: The output method affects the input method.

Shimizu: So...we should burden ourselves...

Furukawa: ...with responsibilities, right?

Tamesue: Well, there's some inefficiency with burden as well. But of course, culture is almost always born from inefficiency.

Furukawa: ...Running's the same. And of course, festivals are nothing but inefficient.

Tamesue: Within that context, I think that making things efficient under the name of globalization has some scary implications for culture.

Furukawa: It's one of the reasons that culture from specific places is being lost.

Shimizu: Right, as things move towards efficiency, the human element gets lost.

Furukawa: To bring burden back into the discussion, when I write novels, I tune the entire structure, the body, with sentence length. If I don't run through the length properly, I'll never be able to write.

Shimizu: When you write, do you get a sort of endorphin rush, like a long distance runner?

Furukawa: Of course.

Tamesue: In sports, that's called “being in the zone”. You get totally focused.

古川日出男
Hideo Furukawa

1966年福島生まれ。1998年に『13』で小説家デビュー。2006年『LOVE』で三島由紀夫賞受賞。代表作は『聖家族』『ベルカ、吠えないのか?』『馬たちよ、それでも光は無垢で』『ドッグマザー』『南無ロックンロール二十一部経』など。

Born in 1966 in Fukushima, Hideo Furukawa debuted in 1998 with his first novel, *13*, and won the Mishima Yukio Prize for his 2006 novel *LOVE*. His works include *Holy Family*, *Belka*, *Why Don't You Bark?*, *Horses, Even Now the Light is Pure*, *Dogmother*, *The 21 Sutras of Rock n' Roll*.

Shimizu: I always try and get that focus when I stand in front of a crowd. To be a bit extreme, it's like I ignore the crowd completely and focus entirely on myself.

Tamesue: It's a little innocent, but that's the best way to get people to feel like you do, right?

Shimizu: Right. But I always want people to say, “It's spot on, but there's something unique there!” when they see my impersonations. So I have to be careful not to get too focused on myself and my craft as well.

Tamesue: That reminds me of something. It's said that almost all of the world's most famous speeches start with “I”. They start with ideas like “I have a dream”, and end with “We have a dream”.

Furukawa: Probing the relationship between self and society, in the end, the “I” is always contained in “we”.

Tamesue: That being said, it can be a little difficult to nail down “we”, since it's pretty vague territory.

Furukawa: You just want to focus on the “I”, don't you? (laughs)

Tamesue: That's why it makes the most sense to start with the “I”, which is divorced from society and doesn't mind, and then work your way to “we”. That's the most certain method.

Shimizu: And it's the “I” that represents the inefficiency we were talking about.

Tamesue: Tokyo requires inefficiency, both now and in the future.

TOKYO PAPER

トーキョーペーパー
for Culture
フォーカルチャー

ジャンルもいろいろ!

All kinds of genres!



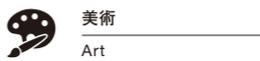
伝統
Traditional



演劇/ダンス
Theater / Dance



音楽
Music



美術
Art



映像
Film



アートプロジェクト
Art Project



写真
Photography



トーク/シンポジウム
Talk / Symposium



レクチャー/ワークショップ
Lecture / Workshop



祭典
Festival

東京が最も刺激的になる7週間!

Most incentive 7 weeks
in Tokyo!

TCW 2014
Tokyo
Creative Weeks
9.27_{sat} → 11.16_{sun}



Machiko Kyo × TCW Sticker

今日マチ子×TCW ステッカーを配布中!

今年のTCWでは、漫画家・今日マチ子さんとコラボレーションしたステッカーを配布します。絵柄は配布場所によって異なる16種類。ステッカーとTOKYO PAPER for Cultureを東京都の形をしたクリップでとめて配布しています。コレクションしたら、東京がもっと好きになるかもしれません。

At TCW this year, we're giving out stickers designed by manga artist Machiko Kyo. Visit each location to collect all 16 designs. The stickers are attached to TOKYO PAPER for Culture with a Tokyo-shaped clip. You'll adore Tokyo even more once you've collected them all.



配布場所など詳しくは
ウェブサイトをチェック!

See our website for
details of where to get them!

※イラストはステッカーのイメージです。

※ステッカーは数に限りがありますので、配布終了の際はご容赦ください。

*Stickers only available while stocks last.

今日マチ子 / Machiko Kyo

自分はずっと東京で暮らしてきましたが、まだまだ知らない世界がたくさんあるなと思いました。これをきっかけに、色んな場所をあらためて巡ってみたいと思います。

I've lived in Tokyo for years, but I realized there's still so much I haven't explored. This is a great chance for me to go and see all kinds of places.

漫画家。手塚治虫文化賞新生賞など受賞多数。代表作に『センネン画報』、『cocoon』等。『いちご戦争』『5つ数えれば君の夢』ほか、新刊が発売中。

Manga artist. Received the Tezuka Osamu Cultural Prize Originality Award and many other awards. Leading works include *Sennen Gabo* and *cocoon*. Latest works now on sale include *Ichigo Senso* and *5-tsu Kazoereba Kimi no Yume*.

「東京クリエイティブ・ウィークス」(TCW)は、伝統文化から現代アートまで東京文化を堪能する7週間のフェスティバルです。50以上にもおよぶプログラムの舞台となるのは、美術館や劇場・ホールはもちろん、街なかの小さなスペースや商店街、さらには魚市場などさまざま。プログラムを巡ることで、文化はもちろん東京の「街」そのものの新たな魅力にも出合えることでしょう。

Tokyo Creative Weeks (TCW) is a seven-week long festival that promotes Tokyo's heritage, from traditional culture to modern art. The festival boasts over fifty programs hosted in diverse locations all over the city, ranging from museums and theaters to the city's smaller locales. By participating in the program, you will come to know more of not only Tokyo's culture, but the "streets" of the city themselves.

このフリーペーパーは、東京文化発信プロジェクトが発行する『TOKYO PAPER for Culture』の特別版として制作されました。

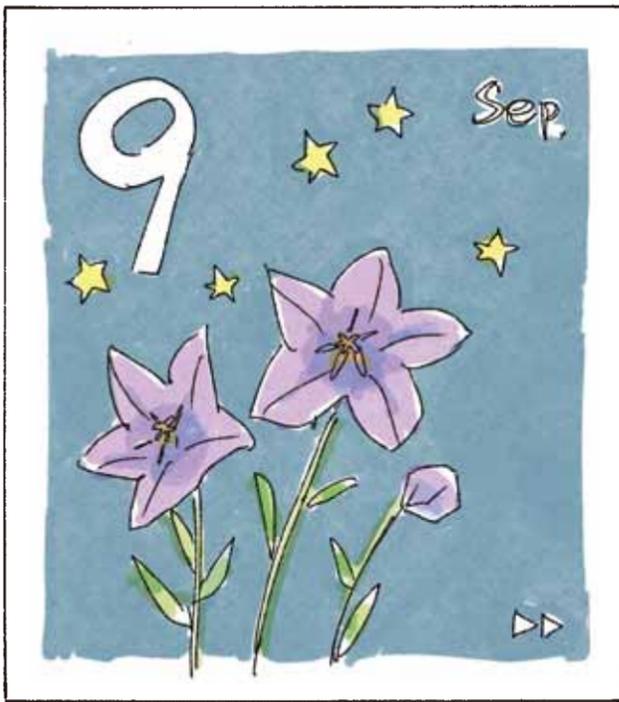
This free paper is a special edition of TOKYO PAPER for Culture, published by Tokyo Culture Creation Project.

東京をガイドする情報サイト「Time Out Tokyo」では、TCW期間中に実施されるプログラムの内容やポイントなどを公開しています。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

"Time Out Tokyo," a guide website for the city, publishes TCW's schedule and summaries of the programs. Please see the website for more details.



www.bh-project.jp



開催中

*毎週金・土・日

人と街と想いをつなぎ、アートが生まれる街へ
Life with Art: Connecting People, Town and Memory

としまアートステーション構想
Toshima Art Station Koso



各々の作業を持ち寄るイベントと、
EAT & ART TAROによる食のプロジェクト
"Gather to work" and an "Art Project by EAT & ART TARO"

●としまアートステーションZ

Toshima Art Station Z

としまアートステーションZ

Toshima Art Station Z

① 12時～18時 ② 無料(飲食は有料) ※詳しくはウェブサイトをご覧ください
☎ 03-5927-1473 (としまアートステーション構想事務局) toshima-as.jp

③ 12:00-18:00 (Only open on Fridays, Saturdays and Sundays) ④ Free (Charge for drinks sold at the CAFE) *Please refer to the website for further details ☎ 03-5927-1473 (Toshima Art Station Koso Office)

開催中 - 10.13 (Mon)

広報連携

市民がつくる、アートを通じて社会をつなぐ祭典
The People's Festival, Networking Through Art

アサヒ・アート・フェスティバル 2014

ASAHI ART FESTIVAL 2014

アサヒグループ本社周辺と全国各地、韓国
HQ of Asahi Group and throughout Japan, Korea

① ② プログラムによって異なる ※詳しくはウェブサイトをご覧ください
① AAF2014 報告会 11/22・23 ☎ 03-6273-0002 (AAFネットワーク実行委員会) www.asahi-artfes.net

③ ④ Depends on the programs *Please refer to the website for further details
① AAF2014 Debriefing Meeting 11.22, 23 ☎ 03-6273-0002 (AAF Network Executive Committee)



開催中 - 12.14 (Sun)

ジブリ作品に登場する建物の魅力を発見!
Find the charm of architectures in Studio Ghibli's films

ジブリの立体建造物展

Studio Ghibli: Architecture in Animation

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



① 9月: 9時30分～17時30分 10月～12月: 9時30分～16時30分 ※入場は閉館の30分前まで ② 400円(一般)、320円(大学生)ほか ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 9:30-17:30 (-September), 9:30-16:30 (October-December) *Admission until 30 minutes before closing time ② 400 yen (Adults), 320 yen (University Students), etc. ③ ④ Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) ☎ 042-388-3300

©Studio Ghibli



開催中 - 10.8 (Wed)

世界に調和と幸福をもたらす芸術の可能性を体感
The Arts of World Harmony and Peace

「楽園としての芸術」展

Art as a Haven of Happiness

東京都美術館 ギャラリーA、B、C

Gallery A, B, C, Tokyo Metropolitan Art Museum



① 9時30分～17時30分、金曜日は9時30分～21時(9/26、10/3を除く) ※入室は閉室の30分前まで ② 800円(一般)、400円(大学生)ほか ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 9:30-17:30, Friday 9:30-21:00 (Except 9.26, 10.3) *Admission until 30minutes before closing time ② 800 yen (Adults), 400 yen (University Students), etc. ③ ④ Monday, 9.16 (expect 9.15, 22) ☎ 03-3823-6921

冬木 麗 (アトリエ・エレマン・プレザン) (あか) 2012年 ©Atelier Elément Présent

開催中 - 9.28 (Sun)

10.11 (Sat) - **11.30** (Sun)

未だ見知らぬ日常や異国の都市の空気を体験する展覧会
Leading visitors to unseen daily life and cities

未知なる日常

Unseen Daily Life

トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



① 11時～19時 ※入館は閉館の30分前まで ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 11:00-19:00 *Admission until 30 minutes before closing time ② Free ③ Artist talks and workshops during the exhibition period (10.11, 18, 11.1, 15) ④ ⑤ Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) ☎ 03-5689-5331

三田村光土里 (Art & Breakfast - 今が知るときなの、その重さを-) 2011 ミューストメディア

開催中 - 2015.2.1 (Sun)

19組の若手アーティストの作品を6期にかけて紹介
Painting & installation works by 19 emerging artists

TWS-Emerging 2014

トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



宮岡俊夫 (Landscape-pool-) 2013 油彩、キャンバス

① 11時～19時 ※入館は閉館の30分前まで ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 11:00-19:00 *Admission until 30 minutes before closing time ② Free ③ Artist talk during the exhibition period (10.4, 11.1, 29, 2015.1.10) ④ ⑤ Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) ☎ 03-3463-0603

9.25 (Thu) - **11.2** (Sun)

コンサートホールとはひと味違う空間でクラシックを
Classics in a Slightly Different Space

Music Weeks in TOKYO 2014

まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ

Machinaka Concert - Autumn of Fine Arts and Musical outings

国立西洋美術館 本館1階ロビー 9/25: 14時～/15時～
江戸東京たてもの園 子宝湯 9/27・28: 11時～/12時20分～/
13時50分～/15時10分～
国立科学博物館 日本館中央ホール 10/4: 13時～/15時～
旧岩崎邸庭園 芝庭(荒天の場合は洋館内) 10/4・5: 13時～/15時30分～
東京国立博物館 表慶館エントランスホール 10/4・11: 11時～
恩賜上野動物園 西園 動物園ステージ(雨天中止) 10/5: 13時～/15時～
旧吉田屋酒店(雨天中止) 10/18: 13時～/14時～
国立国会図書館 国際子ども図書館ホール(3階) 10/19: 13時～/15時～
東京都美術館 1階 佐藤慶太郎記念アトラウンジ 11/1・2: 14時～/15時～

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



開催中 - 10.26 (Sun)

*毎週土・日・祝

選りすぐりの大道芸人が劇場前広場に集結!
An Selection of Street Performers At the Theatre

集まれ! 池袋みんなの大道芸

Come one! Come all! Ikebukuro's Street Show for everyone

東京芸術劇場 劇場前広場 ほか

Tokyo Metropolitan Theatre Theatre-front Plaza, etc.



① 12時～18時30分 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 12:00-18:30 (Only on Saturdays, Sundays and national holiday) ② Free ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

イベントがいっぱい!
So many events!

9.12 (Fri) - **10.5** (Sun)

広報連携

東京・青山発、コンテンポラリーダンスの祭典
Contemporary Dance Festival from Aoyama, Tokyo

Dance New Air - ダンスの明日

Dance New Air

青山円形劇場、スパイラルホール、シアター・イメージフォーラム、
青山ブックセンター本店 ほか

Aoyama Round Theatre, Spiral Hall, Theatre Image Forum,
Aoyama Book Center main store, etc.



① ② プログラムによって異なる ※詳しくはウェブサイトをご覧ください
☎ 03-3797-5678 (青山円形劇場)
☎ 03-3498-1171 (スパイラルホール)
www.dancenewair.jp

③ ④ Depends on the programs *Please refer to the website for further details
☎ 03-3797-5678 (Aoyama Round Theatre)
☎ 03-3498-1171 (Spiral Hall)

9.21 (Sun)・28 (Sun) / 10.18 (Sat)

プロの演奏家が創り出す吹奏楽ならではの響きを楽しむ
Enjoy the Melodies of Professional Wind Musicians

東京芸術劇場Presents ブラスウィーク2014

Tokyo Metropolitan Theatre Presents Brass Week 2014

東京芸術劇場コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

(a) シエナ・ウインド・オーケストラ 第38回定期演奏会 (9/21) 指揮: 宮川彬良
曲目: A. リード/アルメニアン・ダンス パートI (b) 東京佼成ウインドオーケストラ 第120回定期演奏会 (9/28) 指揮: ダグラス・ボストック 曲目: P. スパーク / 宇宙の音楽 (c) 東京吹奏楽団 第61回定期演奏会 (10/18) 指揮: 大井剛史
曲目: J.S. バッハ/トッカータとフーガ 二短調 ①(a) 15時、(b) (c) 14時
②プログラムによって異なる ③中高生のためのバンドクリニックあり (10/12)
④ ⑤0570-010-296

(a) Siena Wind Orchestra, The 38th Concert (9.21) (b) Tokyo Kosei Wind Orchestra, The 120th Concert (9.28) (c) Tokyo Wind Symphony Orchestra, The 61th Concert (10.18) ①(a)15:00, (b)(c)14:00 ②Depends on the programs ③Middle- and High-School Band Clinic (10.12) ④ ⑤0570-010-296

9.27 (Sat) - 2015.1.4 (Sun)

世代や領域、手法の異なる作家らが織り成す展示空間
Artists over a diverse pattern of generation, mode.

開館20周年記念 MOTコレクション特別企画

コンタクツ

20th Anniversary Special MOT Collection

Contacts

東京都現代美術館 常設展示室1F、3F

Collection Gallery 1F, 3F, Museum of Contemporary Art Tokyo



千葉正也 (タートルズ・ライフ #3)
2013年, 油彩/カンヴァス,
160×185.5cm, Copyright the artist,
Courtesy: ShugoArts

⑩10時~18時※入場は閉館の30分前まで ⑪500円(一般)、400円(大学生) ほか ⑫月(祝日の場合は火)、12/28~2015/1/1 ⑬03-5777-8600

⑩10:00-18:00 *Admission until 30 minutes before closing time ⑪500 yen (Adults), 400 yen (University Students), etc. ⑫Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday), 12.28-2015.1.1 ⑬03-5777-8600

9.27 (Sat) - 2015.1.4 (Sun)

身体パフォーマンスとさまざまなアートが出会う
Performance Meets the Arts

東京アートミーティング(第5回)

「新たな系譜学をもとめて—跳躍/痕跡/身体」

Tokyo Art Meeting V

Seeking New Genealogy-Bodies / Leaps / Traces

東京都現代美術館 ほか

Museum of Contemporary Art Tokyo, etc.



Dumb Type (Voyage) 2002年
[参考図版] Photo: Kazuo Fukunaga

総合アドバイザー: 野村萬斎 ⑩10時~18時※入場は閉館の30分前まで ⑪1,200円(一般)、900円(大学生) ほか ⑫月(祝日の場合は火)、12/28~2015/1/1 ⑬03-5777-8600

⑩10:00-18:00 *Admission until 30 minutes before closing time ⑪1,200 yen (Adults), 900 yen (University Students), etc. ⑫Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday), 12.28-2015.1.1 ⑬03-5777-8600

9.27 (Sat)・28 (Sun)
10.11 (Sat)・12 (Sun)

子供も大人も、みんなで味わう茶の文化
The Culture of Tea for Children and Grown-ups

1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念

東京大茶会2014

Commemorating the 50th Anniversary of the Tokyo 1964 Olympic and Paralympic Games
Tokyo Grand Tea Ceremony 2014

江戸東京たてもの園 (a) / 浜離宮恩賜庭園 (b)

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum (a) / Hama-rikyu Gardens (b)



東京大茶会2013の様子

①(a) 9/27・28: 10時~17時(受付9時30分~16時10分)、(b) 10/11・12: 9時30分~16時10分(受付9時~15時30分) ②(a) 200~700円(開催当日は入園無料)、(b) 300~700円(別途入園料が必要) ③茶席以外は当日受付 ④03-3813-1181(東京大茶会事務局)

①(a) 9.27, 28: 10:00-17:00 (Reception 9:30-16:10), (b) 10.11, 12: 9:30-16:10 (Reception 9:00-15:30) ②(a) 200-700yen (Free admission on the two days), (b) 300-700yen (Separate Park Entry Charge) ③Same-day registration for all events except Chaseki; Indoor Tea Ceremony ④03-3813-1181 (Tokyo Grand Tea Ceremony Office)

「江戸東京たてもの園」(9/27・28) (a)

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum (9.27, 28) (a)

「浜離宮恩賜庭園」(10/11・12) (b)

Hama-rikyu Gardens (10.11, 12) (b)

茶席 (a) (b)

Cha-seki; Indoor Tea Ceremony

700円/事前申込制・受付終了(当日キャンセル待ち受付あり)

700yen / Reservation closed (Stand-by tickets available in the event of cancellations)

野点 (a) (b)

Nodate; Outdoor Tea Ceremony

300円/300yen

茶道はじめて体験 (a) (b)

Tea Ceremony for Beginners

300円/300yen

子供のための茶道教室 (a)

Tea Ceremony Workshop for Children

200円/小学生以下対象

200yen / Elementary school age and younger

イングリッシュ野点 (b)

Nodate; Outdoor Tea Ceremony in English

300円/300yen

高校生野点 (b)

Nodate; Outdoor Tea Ceremony by high school students

300円/300yen

9.27 (Sat)

10代のダンスチームが歌舞伎とストリートダンスを融合
Teenage Dance Team Fuses Kabuki and Street Dance

東京発・伝統WA感動

日本の伝統芸能×ストリートダンス Part 2

Tokyo Traditional Arts Program

Traditional Performing Arts × Street Dance Part 2

スパイラルホール (スパイラル3F)

Spiral Hall (Spiral 3F)



都内高校ダンス部による演技
(昨年のストリートダンスより)

第1部: ストリートダンス×歌舞伎 / 歌舞伎所作指導: 坂東新悟
第2部: 木ノ下歌舞伎「三番叟」
①開演18時 ②【全席指定】2,500円(一般)、1,500円(学生) ③ ④03-3467-5421(事務局)

①18:00 ②All seats reserved / 2,500 yen (Adults), 1,500 yen (Students) ③ ④03-3467-5421 (Committee Office)

9.27 (Sat) - 2015.1.4 (Sun)

映画監督ゴンドリーの独創的な世界を追体験する
The exhibition explores Michel GONDRIY's creative world

ミシェル・ゴンドリーの世界一周

Around Michel Gondry's World

東京都現代美術館 企画展示室3F、1F・B室、ホワイエ

Exhibition Gallery 3F, 1F・Room B, Foyer, Museum of Contemporary Art Tokyo



Photo: Bernard Bisson/JDD/ SIPA, 2011, Paris, Courtesy: Home Movie Factory Association

⑩10時~18時※入場は閉館の30分前まで ⑪1,000円(一般)、800円(大学生) ほか ※「ホームムービー・ファクトリー」のみ無料エリア ⑫月(祝日の場合は火)、12/28~2015/1/1 ⑬03-5777-8600

⑩10:00-18:00 *Admission until 30 minutes before closing time ⑪1,000 yen (Adults), 800 yen (University Students), etc. *Admission is free for visiting and participating in the "Home Movie Factory" ⑫Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday), 12.28-2015.1.1 ⑬03-5777-8600

9.29 (Mon) - 10.13 (Mon)

1983年初演、野田秀樹の傑作を藤田貴大が演出
Takahiro Fujita in Hideki Noda's 1983 Masterpiece

芸劇セレクション

小指の思い出

Geigeki Selection

Memory of the Little Finger

東京芸術劇場 プレイハウス

Tokyo Metropolitan Theatre Playhouse



撮影: 川島小鳥

作: 野田秀樹 演出: 藤田貴大
出演: 勝地涼、鮎川法水/松重豊
ほか ①公演日によって異なる
②【全席指定】S席5,500円、
A席4,500円ほか ③ ④10/1・6 ⑤0570-010-296

①Depends on the dates ②All seats reserved / 5,500 yen (S Class), 4,500 yen (A Class), etc. ③ ④10.1, 6 ⑤0570-010-296

全部気になる
You'll want to see them all

9.30 (Tue) - 11.16 (Sun)

50年前の東京オリンピック・パラリンピックと新幹線を紹介
50 Years Ago: The Olympics and Paralympic Games and the Bullet Train

東京オリンピック・パラリンピック開催50周年記念特別展

東京オリンピックと新幹線

A Special Exhibition Commemorating the 50th Anniversary of the Tokyo Olympic and Paralympic Games

Tokyo Olympics and the Bullet Train

東京都江戸東京博物館 1階展示室

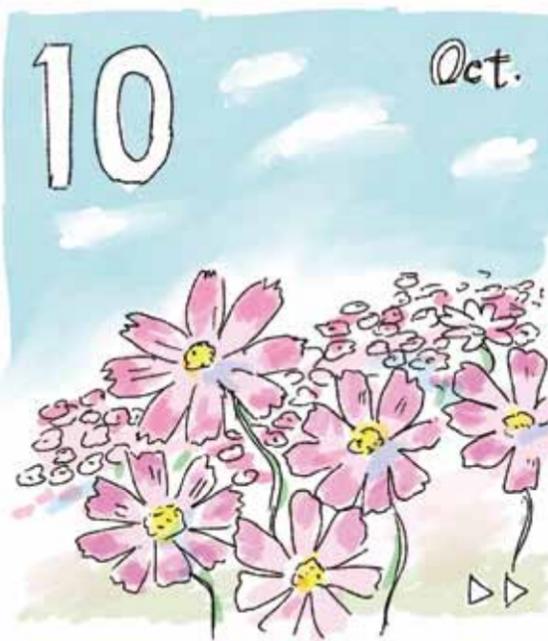
1F Special Exhibition Gallery, Edo-Tokyo Museum



「東京オリンピックポスター(公式Bポスター)」1962年 亀倉雄策/デザイン 早崎治/写真 村越義/フォトディレクション

①9時30分~17時30分、土曜日は9時30分~17時30分※入場は閉館の30分前まで ②1,340円(一般)、1,070円(大学生) ほか ③期間中に関連講座あり ④月(祝日の場合は火) ⑤03-3626-9974

①9:30-17:30, Saturday 9:30-19:30 *Admission until 30 minutes before closing time ②1,340 yen (Adults), 1,070 yen (University Students), etc. ③Lectures during course of event ④Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) ⑤03-3626-9974



10.1 (Wed)・16 (Thu)

社会の多様性と境界を考え、人生の「迂回路」を探る
Find Life's "Diversions":
Social Diversity and Divisions

東京迂回路研究

Tokyo Diversion Research

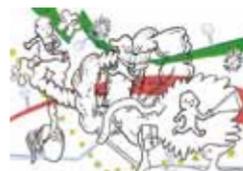


イラスト: 宮田真

「迂回路をさぐる」をテーマに参加者で対話を行う
A Dialogue on the Theme "In Search of Diversions"

●トークシリーズ「迂回路をさぐる」第7回

Talk series "In Search of Diversions" Vol.7

東京文化発信プロジェクト ROOM302 (3331 Arts Chiyoda 3F)

Tokyo Culture Creation Project Room 302

10/1 ①19時30分~21時 ②1,000円(介助者1名無料)

③要申込(定員:20名)

10.1 ①19:30-21:00 ②1,000 yen (One assistant admitted free of charge) ③Reservation required (Enrollment limit: 20)

医療・福祉等に関する施設・団体への調査報告と対話
Field Work Report and a Dialogue

●もやもやフィールドワーク 報告と対話編 第4回

"Moyamoya Field Work" Report and Conversations Vol.4

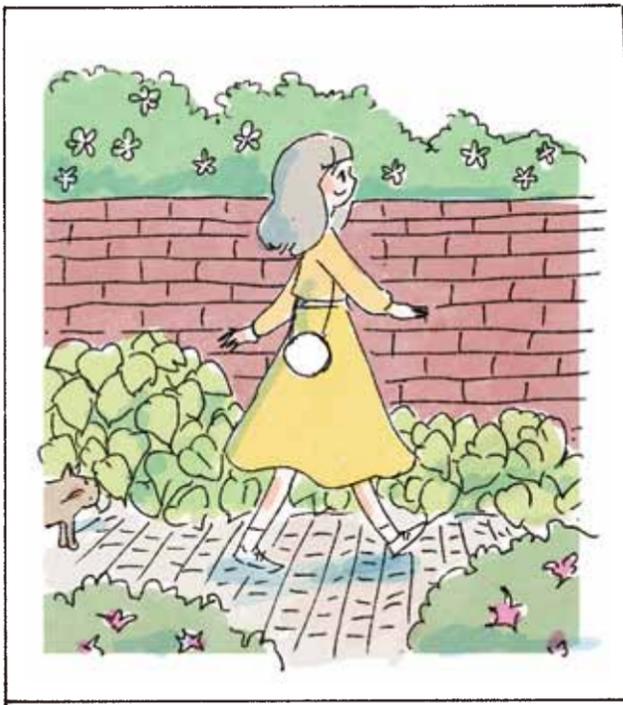
芝の家 Shiba-no-ie

10/16 ①19時~21時 ②500円(介助者1名無料) ③要申込(定員:20名)

10.16 ①19:00-21:00 ②500 yen (One assistant admitted free of charge) ③Reservation required (Enrollment limit: 20)

※詳しくはウェブサイトをご覧ください ④070-6437-3599 (特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所) www.diver-sion.org/tokyo/

*Please refer to the website for further details ④070-6437-3599 (Research Lab for dialogues and expressions of diversity and divisions (NPO))



10.2 (Thu)

コンサートホール・エントランスで至福のひととき
A Moment of Bliss at the Concert Hall Entrance

東京芸術劇場
ティータイム・コンサート Vol.8

Tokyo Metropolitan Theatre Teatime Concert Vol.8

東京芸術劇場 コンサートホール・エントランス (5階)
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall Entrance 5F



大阪市音楽団メンバーによる金管五重奏 曲目：宮川 泰 / 『宇宙戦艦ヤマト』よりほか ①14時～14時30分 ②【全席自由】無料 ③13時より、整理券配布 ☎0570-010-296

④14:00-14:30 ⑤Free (free seating) ⑥Ticket distribution begins at 13:00 ☎0570-010-296

10.4 (Sat)

アートプロジェクトを担うすべての人のためのラボ
Lab for Art Project Professional's

Tokyo Art Research Lab

tarl TOKYO ART RESEARCH LAB

三宅島大学から、場づくりの可能性と限界を考える
Grasp the Limits of Creation at Miyakejima University

●三宅島大学誌 公開研究会

Miyakejima University Magazine-Public Seminar

東京文化発信プロジェクトROOM302 (3331 Arts Chiyoda 3F)
Tokyo Culture Creation Project Room 302

10/4 ①未定 ②無料 ③要申込 (定員: 40名)

10.4 ④TBA ⑤Free ⑥Reservation required (Enrollment limit: 40)

地域・社会と関わるアート活動のアーカイブ・センター
An Archive Center of Art Capturing Place and Society

●P+Archive

東京文化発信プロジェクトROOM302 (3331 Arts Chiyoda 3F)
Tokyo Culture Creation Project Room 302

4/1～毎週木・金 (祝日を除く) ①13時～18時 ②無料

4.1 - Only open on Thursdays and Fridays (except national holiday)
①13:00-18:00 ②Free

※詳しくはウェブサイトをご覧ください

☎080-3171-9724 (Tokyo Art Research Lab 事務局) tarl.jp

*Please refer to the website for further details

☎080-3171-9724 (Tokyo Art Research Lab Office)

10.5 (Sun)

落語と東京六花街の芸者衆による華やかな踊りを堪能
Rakugo Storytellers and Geisha in Performance

東京発・伝統WA感動

大江戸寄席と花街のおどり その四

Tokyo Traditional Arts Program

Rakugo: Traditional Storytelling and Traditional Geisha Dances

東京国際フォーラム ホールC

Tokyo International Forum Hall C



花街のおどり (平成25年の舞台より)

落語：林家正蔵、柳家権太楼
おどり：東京六花街の芸者衆
①開演15時 ②【全席指定】4,000円 (一般)、2,000円 (学生) ③☎03-3467-5421 (事務局)

④15:00 ⑤All seats reserved / 4,000 yen (Adults), 2,000 yen (Students) ⑥☎03-3467-5421 (Committee Office)

10.7 (Tue)

野村万蔵・南原清隆が魅せる、古典の笑いと現代の笑い
Nomura & Nambara: Japanese Comedy Then and Now

東京発・伝統WA感動

日本の笑い—古典と現代

Tokyo Traditional Arts Program

Japanese Comedy - traditional and contemporary

国立能楽堂

National Noh Theatre

出演：野村万蔵、南原清隆、佐藤弘道ほか ①開演19時 ②【全席指定】2,500円 (一般)、1,500円 (学生)ほか ③☎03-3467-5421 (事務局)

④19:00 ⑤All seats reserved / 2,500 yen (Adults), 1,500 yen (Students), etc. ⑥☎03-3467-5421 (Committee Office)



10.7 (Tue) - 11.30 (Sun)

銀座を彩った文化流行とその歴史を写真中心で紹介
Culture and its History in Ginza Photographs

企画展「モダン都市 銀座の記憶
—写真家・師岡宏次の写した50年—」

The Modern City: Memories of Ginza 50 Years of Photographs by Koji Morooka (Planned Exhibition)

東京都江戸東京博物館 常設展示室5階 第2企画展示室

Second Special Exhibits Gallery, Permanent Exhibition Area 5F, Edo-Tokyo Museum



安全地帯の女性 1937年 (昭和12) 師岡宏次 / 撮影

①9時30分～17時30分、土曜日は9時30分～19時30分※入場は閉館の30分前まで ②600円 (一般)、480円 (大学生)ほか ③期間中に関連講座あり (11/5) ④月 (祝日の場合は火) ☎03-3626-9974

⑤9:30-17:30, Saturday 9:30-19:30 *Admission until 30 minutes before closing time ⑥600 yen (Adults), 480 yen (University Students), etc. ⑦Lectures during course of event (11.5) ⑧Monday (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) ☎03-3626-9974

10.10 (Fri)

洗練と洒脱…至高のオーケストラ絵巻
Elegant and Relaxed... A Supreme Orchestral Event

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズII

モンテリオール交響楽団

Tokyo Metropolitan Theatre Orchestras from Abroad Series II
Orchestre symphonique de Montréal

東京芸術劇場 コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall



© Felix_Broede

指揮：ケント・ナガノ ヴァイオリン：五嶋 龍
曲目：ムソルグスキー (ラヴェル編) / 組曲「展覧会の絵」ほか ①開演19時 ②【全席指定】SS席22,000円、S席18,000円、A席13,000円、B席9,000円、C席5,000円、D席3,000円 ③☎0570-010-296

④19:00 ⑤All seats reserved / 22,000 yen (SS Class), 18,000 yen (S Class), 13,000 yen (A Class), 9,000 yen (B Class), 5,000 yen (C Class), 3,000 yen (D Class) ⑥☎0570-010-296

10.8 (Wed)

演出家・劇作家の羊屋白玉が迫る「終焉」と「起源」
"Endings" and "Beginnings" by Shirokoma Hitsujiya

東京スープとブランケット紀行

Tokyo, Soup, Blanket and Travelogue



羊屋白玉 撮影：野村佐紀子

羊屋白玉と小林エリカのWホストによるトークイベント
Talk Show by Erika Kobayashi and Shirokoma Hitsujiya

●対談紀行 ～東京のどこかでだれかと話す～

Conversation Travelogue - Talking in Tokyo

3331 Arts Chiyoda 1F コミュニティスペース
3331 Arts Chiyoda 1F Community Space

①19時30分～ ②1,000円 (中学生以下無料) ③要申込 (定員: 80名)
※詳しくはウェブサイトをご覧ください ☎070-1260-4600 (一般社団法人 指輪ホテル) soupblanket.asia/

④19:30 - ⑤1,000 yen (Junior high school children and younger, free of charge) ⑥Reservation required (Enrollment limit: 80) *Please refer to the website for further details ☎070-1260-4600 (YUBIWA Hotel (General Incorporated Association))

盛りだくさん!!
So much to do!!!

10.11 (Sat)

多摩の街に、人々がつながるアートプロジェクトを!
Connecting People with Art in Tama

Art Bridge Institute



港千尋、開発好明とゲストによるトーク
A Talk by Chihiro Minato and Yoshiaki Kaihatsu

●Art Bridge Institute フォーラム「アートの連結力」
Art Bridge Institute Forum "The Connectivity of Art"

3331 Arts Chiyoda 1F コミュニティスペース
3331 Arts Chiyoda 1F Community Space

①14時～17時 ②無料 ③要申込 (定員: 70名)

※詳しくはウェブサイトをご覧ください www.facebook.com/artbridgeinstitute

④14:00-17:00 ⑤Free ⑥Reservation required (Enrollment limit: 70)

*Please refer to the website for further details

10.10 (Fri) - 19 (Sun)



蒲田は街中、映画で一杯! 楽しき哉!!
Kamata Transforms into Movietown

第2回蒲田映画祭
シネマパラダイス蒲田

2nd Kamata Film Festival Cinema Paradise Kamata

大田区民ホール・アブリコ、大田区産業プラザ、蒲田地区各所予定
APRICO Hall, Ota City Industrial Plaza, Various locations in Kamata district



①イベントによって異なる ②無料(映画上映のみ有料) ③映画上映のみ要申込※詳しくはウェブサイトをご覧ください ☎03-3734-0202 (一般社団法人大田観光協会) www.o-2.jp/cinepara

④Depends on the events ⑤Free (Admission will be charged only for film screening) ⑥Reservation required only for film screening *Please refer to the website for further details ☎03-3734-0202 (Ota Tourist Association)

10.11 (Sat)・12 (Sun)



東京に残る伝統工芸士の技を見て、体験できる2日間
Experience Two Days of Tokyo's Traditional Crafts

体験! 発見! 職人さん

Experience! Discover! The Work of the Artisan

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



①10時30分~16時 ②400円(一般)、320円(大学生)ほか ☎042-388-3300

③10:30-16:00 ④400yen (Adults), 320yen (University Students), etc. ☎042-388-3300

体験! 発見! 職人さん (昨年の様子)

10.11 (Sat) - 12.14 (Sun)



ボッティチェリなど、フィレンツェ美術が集結!
Botticelli to Bronzino: The Art of Florence

ウフィツィ美術館展 — 黄金のルネサンス
ボッティチェリからブロンズィーノまで—

Arte a Firenze da Botticelli a Bronzino: verso una 'maniera moderna'

東京都美術館 企画展示室

Exhibition Rooms, Tokyo Metropolitan Art Museum



サンドロ・ボッティチェリ《パラスとケンタウロス》1480-85年 テンペラ、カンヴァス ウフィツィ美術館 FOTO: S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze - Gabinetto Fotografico

①9時30分~17時30分、毎週金曜日および11/1・2、12/6・13・14は9時30分~20時※入室は閉室の30分前まで ②1,600円(一般)、1,300円(大学生)ほか ③月、11/4・25(ただし、10/13・27、11/3・24は閉室) ☎03-5777-8600

④9:30-17:30, Friday and 11.1, 2, 12.6, 13, 14: 9:30-20:00 *Admission until 30 minutes before closing time ⑤1,600 yen (Adults), 1,300 yen (University Students) etc. ⑥Monday, 11.4, 25 (except 10.13, 27, 11.3, 24) ☎03-5777-8600

出かけたくなる
You'll want to go out

10.13 (Mon)



ワークショップと舞台鑑賞を通して出会う能の魅力
The Appeal of Noh: Workshop and Performance

東京発・伝統WA感動

能 ~伝統の発見~

Tokyo Traditional Arts Program

Noh ~rediscovering the tradition~

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

Kita Noh Theatre



出演: 友枝昭世(仕舞「羽衣」)、香川靖嗣(能「船弁慶」)ほか ①第1部: ワークショップ 開演12時30分、第2部: 公演 開演15時30分 ②【全席指定】3,000円(一般)、1,500円(学生)、第2部のみ: 2,000円(一般)、1,000円(学生) ③ ☎03-3467-5421 (事務局)

④Part1 (Workshop) / 12:30, Part2 (Noh performance) / 15:30 ⑤All seats reserved / (Part 1+ Part 2) 3,000 yen (Adults), 1,500 yen (Students), Part 2 only: 2,000yen (Adults), 1,000 yen (Students) ⑥ ☎03-3467-5421 (Committee Office)

能「船弁慶」前シテ・静御前(塩津哲生) 撮影: 前島吉裕



10.13 (Mon)



おみこしと公園周辺の水辺空間の魅力体験する
Experience the Joys of the Mikoshi and the Waterfront

隅田川夕日見 2014

SUMIDAGAWA YUHIMI 2014

都立汐入公園を中心とした隅田川周辺

Shiomi Park and other Places Near the Sumida River

①未定 ②無料 ③小雨決行※最新情報はウェブサイトをご覧ください ☎03-6240-2292 (アーツカウンシル東京) www.artscouncil-tokyo.jp

④TBA ⑤Free ⑥Cancelled in the case of heavy rain *Please refer to the website for the latest information ☎03-6240-2292 (Arts Council Tokyo)



© 鬼頭志帆

10.12 (Sun) / 11.2 (Sun)



「音」をテーマにしたプログラムがむすぶ新しい縁
The Theme is "Music": The New Bond

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

Art Access Adachi: Downtown Senju - Connecting through Sound Art



2014年3月16日開催 野村誠 千住じゃれ音楽祭 国際交流企画第2弾: タイ編 レクチャー&コンサート「タイのアンを藝大に歓迎タイ!」撮影: 雨宮透貴

千住の魚市場にアジアの音楽が大集結! 1010人の演奏会
Asian Music by 1010 Musicians at the Senju Fish Market!

●野村誠 千住じゃれ音楽祭「千住の1010人」

Makoto Nomura Senju Pun-filled Music Festival "1010 People in Senju"

東京都中央卸売市場 足立市場

Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market, Adachi Market

10/12 ①15時~17時(開場12時) ②無料(屋台は一部有料)

10.12 ③15:00-17:00 (Opening hours: 12:00) ④Free (Some food carts Charge)

無数のしゃぼん玉で街なみを光の風景へと変貌させる
Transformed Town: Infinite Soap Bubbles and Lights

●大巻伸嗣「Memorial Rebirth千住 2014 太郎山(仮)」

Shinji Ohmaki "Memorial Rebirth Senju 2014 Taroyama (Tentative title)"

千住旭公園

Senju Asahi Park

11/2 ①未定 ②無料(屋台は一部有料)

11.2 ③TBA ④Free (Some food carts Charge)

※最新情報はウェブサイトをご覧ください

☎03-6806-1740 (音まち千住の縁事務局) aaa-senju.com

*Please refer to the website for the latest information

☎03-6806-1740 (Downtown Senju-Connecting through Sound Art Office)

10.16 (Thu)



身も心も静まる夜、神聖な音色に身を任せる
Sacred Music: An Evening to Calm the Soul

東京芸術劇場

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.7

Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Vol.7

東京芸術劇場 コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall



オルガン: 近藤 岳
曲目: ヴィエルヌ/オルガン交響曲 第6番 op.59 ほか ①開演19時30分 ②【全席指定】1,000円 ③ ☎0570-010-296

④19:30 ⑤All seats reserved / 1,000 yen ⑥ ☎0570-010-296

10.17 (Fri) - 26 (Sun)



空きテナントを有効活用し、街の余白を想像力で彩る
Painting the Town with Imagination Using Empty Shops

AKITEN



[dessert & dessert vol.8]
Photo: 三井住友

街の空きスペースをアートギャラリーに
From Empty Space to Gallery

●AKITEN 2014

AKITEN BASE CAMP ほか

AKITEN BASE CAMP, etc.

①12時~18時※最新情報はウェブサイトをご覧ください akiten.jp

②12:00-18:00 *Please refer to the website for the latest information

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

野村誠 千住じゃれ音楽祭「千住の1010人」

作曲家・野村誠を中心に展開している「千住じゃれ音楽祭」。今年、発足当初からの夢であった「千住の1010人」の演奏者による演奏会を、満を持して開催します。会場は足立区の魚市場、足立市場。演目では、タイやインドネシアの作曲家による各国の伝統楽器を用いた演奏や創作楽器など見どころ満載です。この壮大なじゃれに乞うご期待!

吉田武司(ブンプロ)

Senju Pun-filled Music Festival "1010 People in Senju"

This year, the "Senju Pun-filled Music Festival" led by Makoto Nomura, will feature a performance by "1010 People in Senju", and will be hosted at Adachi Market. Come enjoy magnificent wordplay against a backdrop of traditional international music from composers from Thai, Indonesia and more!

Takeshi Yoshida (BUNPRO)

Recommend

10.18 (Sat)

広報連携

豊島区と友好・交流都市の伝統芸能の競演!
Enjoy Toshima's and 2 other city's traditional performing arts!

第26回「民俗芸能inとしま」
～福島県いわき市と長野県箕輪町の伝統芸能を迎えて～

26th Performing Folk Arts in Toshima
-Inviting Iwaki city(Fukushima) & Minowa-machi(Nagano)-

豊島公会堂
Toshima Public Hall



御宝殿熊野神社稚児田楽・風流

①開演14時 ②無料 ③要申込
※詳しくはウェブサイトをご覧ください ☎03-3590-5321 ((公財)としま未来文化財団) www.toshima-mirai.jp

④14:00 ⑤Free ⑥Reservation r-quired *Please refer to the website for further details ☎03-3590-5321 (Toshima Future Culture Foundation)



10.18 (Sat)・19 (Sun)

広報連携

三軒茶屋の街全体が、劇場に変身!
Sangenjaya Morphs into a Theatre

世田谷アートタウン2014

三茶de大道芸

Setagaya Art Town 2014
Street Performance in Sangenjaya

三軒茶屋・キャロットタワー周辺、近隣商店街など
Around Sangenjaya Station, Carrot Tower, nearby shopping areas, etc.

①会場によって異なる※詳しくはウェブサイトをご覧ください
②無料 ☎03-5432-1547 (世田谷アートタウン事務局)
www.setagaya-ac.or.jp/arttown

③Depends on the venues *Please refer to the website for further details
④Free ☎03-5432-1547 (Setagaya Art Town)

世田谷アートタウン 2014
三茶de大道芸

10.19 (Sun) - 11.2 (Sun)

視覚トリックを駆使して描く奇妙な人間模様
Strange Coincidence through Trompe l'oeil

芸劇セレクション
ポリグラフー嘘発見器ー

Geigeki Selection
LE POLYGRAPHE

東京芸術劇場 シアターイースト
Tokyo Metropolitan Theatre Theatre East



撮影: 引地信彦

構想・脚本: マリー・ブラッサール/
ロベール・ルバージュ 翻訳: 松岡
和子 演出: 吹越満 出演: 森山
開次, 太田 緑 ロランス, 吹越満
①公演日によって異なる ②【全
席指定】5,500円 ほか ③10/20・27
④☎0570-010-296

⑤Depends on the dates ⑥All se-
ats reserved / 5,500 yen, etc.
⑦10.20,27 ⑧☎0570-010-296

10.22 (Wed) - 11.9 (Sun)

広報連携

オペラから吹奏楽まで。みんなで楽しむクラシック
Popular Classics from Opera to Wind Instruments

北とびあ国際音楽祭2014
～各国のクラシック音楽がいっぱい～

Hokutopia International Music Festival 2014
Classical Music from All Over the World

北とびあさくらホール・つつじホール・スカイホール、旧古河庭園洋館
Hokutopia Sakura Hall, Tsutsuji Hall, Sky Hall, Kyu-Furukawa Teien Yokan



北とびあ国際音楽祭2013
歌劇「フィガロの結婚」の様子

①②イベントによって異なる
※詳しくはウェブサイトをご覧ください ☎03-5390-1221 ((公財)
北区文化振興財団) www.kitab
unka.or.jp/

③④Depends on the events
*Please refer to the website for f-
urther details ☎03-5390-1221
(Kita-ku Culture Foundation)

10.23 (Thu) - 31 (Fri)

広報連携

世界から注目の作品が集まる、アジア最大級の映画祭
Showing outstanding films from around the world!!

第27回東京国際映画祭

27th Tokyo International Film Festival

六本木ヒルズ、TOHOシネマズ 日本橋をメインに、
都内の劇場、施設、ホール ほか
Roppongi Hills, TOHO CINEMAS Nihonbashi, Theaters,
halls and other facilities in Tokyo metropolitan area, etc.

①②プログラムによって異なる※詳細はウェブサイトをご覧ください
www.tiff-jp.net

③④Depends on the programs
*Please refer to the website for further details



© 2014 TIFF

10.24 (Fri)・25 (Sat)

クラシックとジャズを縦横無尽にかけめぐる
Classics Mingle with Jazz

Music Weeks in TOKYO 2014

小曾根 真&アルトゥーロ・サンドヴァル
“Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

Makoto Ozone & Arturo Sandoval “Jazz meets Classic”
with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京芸術劇場コンサートホール(10/24) / オリンパスホール八王子 (10/25)
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall (10.24)
Olympus Hall Hachioji (10.25)

【第1部】バーンスタイン/「キャンディード」序曲、ショスタコーヴィチ/ピアノ協奏曲第1番 (ピアノとトランペット、弦楽合奏のための協奏曲)、ラヴェル/ボレロ (小曾根スペシャル) 【第2部】ジャズ・セッション (小曾根 真&アルトゥーロ・サンドヴァル) ①開演19時 ②S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、学生席1,000円 ③☎03-5685-0650 (東京文化会館 チケットサービス)

④19:00 ⑤5,000 yen (S Class), 4,000 yen (A Class), 3,000 yen (B Class), 1,000 yen (Students) ⑥☎03-5685-0650 (Tokyo Bunka Kaikan Ticket Service)



小曾根真: ©Yow Kobayashi



アルトゥーロ・サンドヴァル

10.24 (Fri) - 11.3 (Mon)

広報連携

世界最新のデザインを「見て・触って・楽しむ」
“See, Touch and Enjoy” the World's Latest Designs

代官山デザインデパートメント2014

Daikanyama Design Department 2014

代官山 T-SITE

DAIKANYAMA T-SITE

①プログラムによって異なる
※最新情報はウェブサイトにて告知予定
②無料 ☎03-3770-2525 (代官山 蔦屋書店)
tsite.jp/daikanyama/

③Depends on the programs
*Please refer to the website for the latest information
④Free ☎03-3770-2525 (DAIKANYAMA TSUTAYA BOOKS)

:DDD

代官山 デザイン デパートメント

10.24 (Fri)
11.21 (Fri) / 12.12 (Fri)

古代から近代まで、名建築の特徴や見どころを探る
From Past to Present: Architectural Highlights

えどはくカルチャー 江戸と東京を学ぶ

見たい!日本の名建築Ⅶ 東海・九州・四国編

Learning about Edo and Tokyo at the Edo-Tokyo Museum
The Famous Buildings of Japan v.6: Tokai, Kyushu, Shikoku

東京都江戸東京博物館
Edo-Tokyo Museum



西日本工業倶楽部 (旧松本家住宅/国指定重要文化財/北九州市) 撮影: 伊藤隆之

①14時~15時30分 ②1,000円
※3講座セット券2,400円
③要申込 ☎03-3626-9974

④14:00-15:30 ⑤1,000yen
*3-lecture ticket set 2,400yen
⑥Reservation required
☎03-3626-9974

10.24 (Fri) - 31 (Fri)

名作を韓国人キャスト・野田秀樹自身の演出で上演
Hideki Noda Revives his Masterpiece with a Korean Casts

芸劇セレクション 東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作
半神

Geigeki Selection Collaboration Project Between
Tokyo Metropolitan Theatre and Myeongdong Theater
Half Gods

東京芸術劇場 プレイハウス
Tokyo Metropolitan Theatre Playhouse

原作・脚本: 萩尾望都 脚本・演出: 野田秀樹 ①公演日によって異なる ②【全
席指定】S席5,000円、A席4,000円 ほか ③10/27 ④☎0570-010-296

⑤Depends on the dates ⑥All seats reserved / 5,000 yen (S Class), 4,000 yen
(A Class), etc. ⑦10.27 ⑧☎0570-010-296



アートディレクション: 吉田ユニ

東京っておもしろい!
Tokyo's fascinating!

芸術の秋だね
Autumn's the best time
for the arts

今度の週末、何しよう?
文化の街を巡ったらいいことあるかも
Wondering what to do this weekend?
Visit the cultural hubs - you might find something good!

10.25 (Sat)
11.8 (Sat)・9 (Sun)



高円寺〜国分寺を中心に現在進行形のアートを発信
Progressive Art from Koenji to Kokubunji Areas

TERATOTERA



公園のリズム公園のメロディー Photo: 飯川雄大

アートプロジェクトの悩みに関するトークイベント
A Talk on the Difficulties of Art Projects

●アートプロジェクトで789(なやむ) 第3回 ゲスト: 遠藤一郎
Art Project 789 3rd Edition, Guest: Ichiro Endo

会場 未定
Venue TBA
10/25 未定 要申込
10.25 TBA Reservation required

電車の高架下で音楽とアートが奏でる彩り豊かな祭典
Under the Tracks: Music and Art Beneath the Trains

●途中下車の旅@東小金井 TERATOTERA SOUND FES
Train Stopover Journeys @Higashi-koganei
TERATOTERA SOUND FES

JR中央線東小金井駅〜武蔵境駅間の高架下
Under the JR Chuo Line tracks, between Higashikoganei and
Musashisakai Stations
11/8・9 未定 無料
11.8,9 TBA Free

※最新情報はウェブサイトをご覧ください
☎090-4737-4798 (TERATOTERA 事務局) teratotera.jp
*Please refer to the website for the latest information
☎090-4737-4798 (TERATOTERA Office)

東京発・伝統WA感動
至高の芸、そして継承者〜狂言

能楽狂言方の流派を越えた人間国宝三人が一つの公演にそろって出演! 野村万作(人間国宝)と
野村萬斎ほかによる「三番叟」、山本東次郎(人間国宝)と山本泰太郎、山本則重ほかによる
「木六駄」、野村萬(人間国宝)と野村万蔵ほかによる「舟渡聲」をそれぞれ披露します。
人間国宝と次代を担う狂言師たちの極めつけの得意演目をぜひご覧ください!

菅原 望(ブンプロ)

Tokyo Traditional Arts Program
Kyogen ~Supremacy and Successors

Three of Japan's most treasured Noh Kyogen actors come together on one stage! Mansaku Nomura (a living national treasure) presents "Sanbasou" with Mansai Nomura, Tojiro Yamamoto (also a national treasure) performs "Kirokuda" with Yasutaro Yamamoto and Norishige Yamamoto, and Man Nomura (the third national treasure) acts in "Funawatashimuko" with Manzo Nomura. Living national treasures and the next generation of kyogen actors present a marvelous program, guaranteed to impress!

Nozomi Sugahara (BUNPRO)



Recommend

10.28 (Tue)



能楽狂言方3人の人間国宝が揃って出演
Three Noh & Kyogen Stars Together in the Same Show

東京発・伝統WA感動
至高の芸、そして継承者〜狂言

Tokyo Traditional Arts Program
Kyogen ~Supremacy and Successors

国立劇場大劇場
National Theatre (Large Theatre)

出演: 野村万作、山本東次郎、野村 萬ほか 開演18時30分 全席指定
6,000円(1等席)、4,000円(2等席)、2,000円(学生)ほか 6+ ☎03-3467-5421(事務局)

18:30 All seats reserved / 6,000 yen (1st Class), 4,000 yen (2nd Class), 2,000 yen (Students), etc. 6+ ☎03-3467-5421 (Committee Office)



左/野村万作
中央/山本東次郎
右/野村 萬

10.30 (Thu)



チェコの巨匠に読売日本交響楽団が挑む!
Czech Maestro Conducts a Japanese Orchestra

東京芸術劇場 世界のマエストロシリーズ vol.2
ラドミル・エリシュカ & 読売日本交響楽団
Tokyo Metropolitan Theatre World Maestro Series vol.2
Radomil Eliška & Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

東京芸術劇場 コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall



指揮: ラドミル・エリシュカ ピアノ:
河村 尚子 曲目: ドヴォルザーク/
交響曲第9番「新世界より」ほか
開演19時 全席指定 S席
6,000円、A席5,000円、B席4,000円、
C席3,000円、D席2,000円 6+
☎0570-010-296

19:00 All seats reserved / 6,000 yen (S Class), 5,000 yen (A Class), 4,000 yen (B Class), 3,000 yen (C Class), 2,000 yen (D Class) 6+ ☎0570-010-296

© 佐藤雅英

10.31 (Fri) - 11.16 (Sun)



新しい表現の可能性を追求する実験的な公演シリーズ
A series of experimental performances for new expressions

トーキョー・エクスペリメンタル・
フェスティバル Vol.9 TEF パフォーマンス
TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL
-SOUND, ART & PERFORMANCE- Vol.9 TEF Performance

両国門天ホール
Ryogoku Monten Hall



[TEFパフォーマンス Vol.8] 昨年度の公演の様子
Performance view of TEF Performance Vol. 8, 2013

プログラムによって異なる
要申込 ☎03-5602-9881
(トーキョーワンダーサイト)

Depends on the programs
Reservation required
☎03-5602-9881
(Tokyo Wonder Site)



11.1 (Sat) - 30 (Sun)



演劇×ダンス×美術×音楽…に出会う30日間
Japan's leading performing arts festival

フェスティバル/トーキョー14
Festival/Tokyo 2014

東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしがも創造舎、
シアターグリーン、アサヒ・アートスクエア ほか

Tokyo Metropolitan Theatre, Owlspot Theater,
Nishi-Sugamo Arts Factory, Theater Green, Asahi Art Square, etc.

プログラムによって異なる
詳しくはウェブサイトをご覧ください ☎03-5961-5202 (フェスティ
バル/トーキョー実行委員会事務局) festival-tokyo.jp

Depends on the programs
*Please refer to the website for further details
☎03-5961-5202 (Festival/Tokyo Executive Committee Office)

FESTIVAL TOKYO 14

11.4 (Tue) - 12.25 (Thu)



世界を舞台に活躍できるストリートパフォーマーを育てる!
Rasing World-Class Street Performers

芸劇セレクション
ストリートアーティスト・アカデミー 2014 冬期

Geigeki Selection
Street Artist Academy 2014 Winter

東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか
Tokyo Metropolitan Theatre Rehearsal rooms, etc.

火・木 12時〜16時30分(予定) 無料 要申込(9/9〜26) ☎03-5391-2116

12:00-16:30(Planned), Tuesday and Thursday Free
Reservation required (9.9-26) ☎03-5391-2116

ストリート
アーティスト
アカデミー



公演イメージ写真(市川ばたん「鐘の罫」)



左/西川扇藏 中/今藤政太郎 右/新内伸三郎

11.5 (Wed) - 12.28 (Sun)

音と音楽にかかわる表現の可能性を探求
In Search of Expression in Sound and Music

サウンド・ライブ・トーキョー

Sound Live Tokyo

マイケル・スノウ+恩田晃+アラン・リクト (11/5・6)
ケイス・ブルーム+工藤礼子 (11/11)
Michael Snow + Aki Onda + Alan Licht (11.5,6)
Kath Bloom + Reiko Kudo (11.11)

WWW

①開演19時30分 ②3,000円 ③03-5724-4660
(PARC-国際舞台芸術交流センター)

①19:30 ②3,000yen ③03-5724-4660
(PARC-Japan Center, Pacific Basin Arts Communication)

裁かる・ジャンヌーローレン・コナーズ+灰野敬二 / WWW (11/17)

The Passion of Joan of Arc—Loren Connors + Keiji Haino / WWW (11.17)

東京都初耳区 (ライブ・パフォーマンス) / スーパー・デラックス (11/23)

New Sound Sanctuary (Live Performance) / SuperDeluxe (11.23)

東京都初耳区 (サウンド・インスタレーション) / スーパー・デラックス (12/2~4)

New Sound Sanctuary (Sound Installation) / SuperDeluxe (12.2-4)

Antigone Dead People—Small Wooden Shoe + dracom / スーパー・デラックス (12/27・28)

Antigone Dead People—Small Wooden Shoe + dracom / SuperDeluxe (12.27, 28)



音楽美術……ワクワク
Music, art...so exciting

東京・ベルリン友好都市提携20周年記念
文化の力・東京会議2014

「文化創造都市とフェスティバル」

今年は東京・ベルリン友好都市提携20周年を記念し「文化創造都市とフェスティバル」と題して、都市でフェスティバルを開催する意義について議論します。ベルリン、ロンドン、ソウルおよび日本の各都市から専門家を招き、世界の大都市のフェスティバルがその都市や社会に何をもたらしているかを比較しながら、今後必要とされる新しい視点やコンセプトを共に考えます。

山口真樹子 (ブンプロ)



Recommend

20th anniversary of the Tokyo-Berlin city partnership in 2014
Culture and Social Innovation: Tokyo Conference 2014
“Cities of Cultural Creativity and Festivals”

The “Cities of Cultural Creativity and Festivals,” commemorating the 20th anniversary of the Tokyo-Berlin city partnership in 2014, aims to discuss the significance of urban festivals around the world. People from Berlin, London, Seoul, and various Japanese cities join together to compare their various festivals and to discuss what concepts and viewpoints are necessary for urban festivals going forward.

Makiko Yamaguchi (BUNPRO)

11.7 (Fri)

東京の文化を海外へ発信! 国際ネットワークをつくる
Disseminating Tokyo Culture and Building International Network

東京・ベルリン友好都市提携20周年記念
文化の力・東京会議2014

「文化創造都市とフェスティバル」

20th anniversary of the Tokyo-Berlin city partnership in 2014
Culture and Social Innovation: Tokyo Conference 2014
“Cities of Cultural Creativity and Festivals”

都庁都民ホール

Citizens' Hall on the first floor of the Tokyo Metropolitan Assembly Building

①16時~19時45分 ②無料 ③要申込※詳しくはウェブサイトをご覧ください
tokyo-conference.jp

①16:00-19:45 ②Free ③Reservation required
*Please refer to the website for further details

登壇者 Speaker

トーマス・オーバーエンダー Dr. Thomas Oberender
(ベルリン芸術祭総裁 Artistic and Managing Director of Berliner Festspiele)

逢坂恵理子 Eriko Osaka
(横浜美術館館長 Director of Yokohama Art Museum)

ルイーズ・ジェフリーズ Louise Jeffreys
(バービカン・センター アーツ部門ディレクター Director of Arts, Barbican Centre)

イム・ミヘ Mihye Lim
(ソウル芸術文化財団 芸術教育チーム長 Director, Arts in Education, Seoul Foundation for Arts and Culture)

橋本裕介 Yusuke Hashimoto
(ロームシアター京都 / KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター
Program Director, ROHM Theatre Kyoto / KYOTO EXPERIMENT)

コンラート・シュミット=ヴェルテルン Dr. Konrad Schmidt-Werthern
(ベルリン市文化部長 Head of the Department of Culture in the Senate Chancellery in Berlin)

【モデレーター】片山正夫 Moderator: Masao Katayama
(公益財団法人セゾン文化財団常務理事 / 東京芸術文化評議会専門委員
Managing Director of the Saison Foundation / Member of Specialist Committee for Cultural Policy, Tokyo Council for the Arts)

11.6 (Thu) - 15 (Sat)

●国際招聘プログラム

International Visitors Program

レバノン・スペイン・スリランカ・アルゼンチン・ドイツから
若手の文化・芸術関係者を招き、交流する
Cultural Exchange with Young Professionals from Overseas

11.8 (Sat) / 12.6 (Sat)

子供たちのミュージアム・デビューを応援!
Enhancing Children's Museum Experiences!

Museum start あいうえの

あいうえの日和

Museum Start “i-Ueno”
Good day “i-Ueno”

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



①10時~10時30分、11時~11時30分 ②無料 ③要申込
④03-3823-6921 (Museum Start あいうえの運営チーム 東京都美術館×東京藝術大学)

①10:00-10:30, 11:00-11:30
②Free ③Reservation required ④03-3823-6921 (Museum Start “i-Ueno”, Tokyo Metropolitan Art Museum × Tokyo University of the Arts)

11.15 (Sat)

美術館の建物そのものを楽しむ見学ツアー
The Museum architecture itself: A Guided Tour

建築ツアー

Architecture Tour

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



①14時~14時45分 ②無料
③当日先着30名 ④03-3823-6921 (アート・コミュニケーション 建築ツアー担当)

①14:00-14:45 ②Free
③First 30 applicants ④03-3823-6921 (Art communication programs (Architecture Tour))
① This tour is available in only Japanese

11.15 (Sat)・16 (Sun)

歴史と文化の町、神楽坂で伝統芸能をたっぷり味わう
Traditional Performing artists in Kagurazaka

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2014

Kagurazaka Street Stage — O-edo Tour
(Japanese Traditional Culture Festival)

神楽坂エリア

Kagurazaka Area



①11/15: 前夜祭16時頃~21時、11/16: 本祭11時~16時30分 ②無料
①見番のみ有料・要予約
④03-5478-8265 (神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2014事務局 (古典空間内))

①11.15 / Festival Eve: 16:00-21:00, 11.16 / Main Festival: 11:00-16:30
②Free ①Admission will be charged only for performance at the Kenban. Reservation must be required

夜のミュージアムに行こう!
How about a night at the museum?

2つの博物館・美術館では、夜間開館を実施。
秋の夜長に、ゆっくりアートを楽しんでみてください。
2 Tokyo museums are opening at night.
Take time to enjoy art during the long autumn nights.

東京都江戸東京博物館
毎週土曜日
19時30分まで

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum
Saturdays, until 19:30

東京都美術館
10/17~11/16の毎週金曜日、
11/1・2
20時まで

Tokyo Metropolitan Art Museum
Fridays (Oct. 17 - Nov. 16) and 11.1, 2,
until 20:00

※すべて入館は開館の30分前まで
*Admission until 30 minutes before closing time at all 3 museums.

文化を巡る旅へ
Embark on a cultural journey!

About Tokyo Culture Creation Project

東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。多くの人々が文化に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルをはじめ多彩なプログラムを通じて、新たな東京文化を創造し、世界に発信していきます。

www.bh-project.jp

Tokyo Culture Creation Project, organized by the Tokyo Metropolitan Government and the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture in cooperation with arts organizations and NPOs, aims to establish Tokyo as a city of global cultural creativity. The project facilitates involvement of a larger number of people in creation of new culture as well as it creates and globally disseminates new Tokyo culture through organizing international festivals and other diverse events.

www.bh-project.jp/en

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室
〒130-0026 東京都墨田区両国3-19-5 シュタム両国5階
tel : 03-5638-8805 | fax : 03-5638-8811



ブンプロ 掲示板

お馴染み、研究所の中にある、ブンプロ掲示板。
 研究員からみなさんに知ってもらいたい旬な情報をどどんとお伝えします！

The familiar BUNPRO bulletin board, located in the research lab.
 The research staff will keep you up to date on all the information you should have!

ブンプロが主催するプロジェクトなどの内容・詳細は公式ウェブサイトから。
 SNSでも楽しい話題を提供しています！

Find out here about programs and details of projects presented by BUNPRO.
 Fun topics are also posted on Facebook and Twitter!

www.bh-project.jp
www.bh-project.jp/en

f 東京文化発信プロジェクト
 @tokyobunka



「TARL」ってなあに？

What's "TARL"?



Q1 どんなところ？

TARL (Tokyo Art Research Lab) は、アートプロジェクトの可能性を広げるために、いろいろなアートプロジェクトを調査&研究し、アートプロジェクトのこれからを考えるとところ。 「アートプロジェクトを知る・実施する・研究する」ための言葉を、本にまとめたり講座を開いたりして伝えているんです。

Q2 メインの活動は？

アートプロジェクトを担う人を育てる複数年制のスクール、「思考と技術と対話の学校」です。初年度の今年は実践的なスキルではなく、アートプロジェクトを構想し展開するために必要となる考え方や知識に重点を置いて教えています。

Q3 ほかにもやっていることがあったら教えて！

プロジェクトを長く続けていくためには、企画力やマネジメント力を磨くことはもちろんですが、活動をきちんと記録することが大切なんです。プロジェクトを一度きりのイベントで終わらせず、情報を整理して残し、内容を振り返り、みんなで共有し、伝えていく。TARLでは、その流れをスムーズにするための「デジタルアーカイブ」を研究開発し、その手法の普及に努めています。

Tokyo Art Research Lab、通称「TARL」。それは、アートプロジェクトに携わる人、携わりたい人のための学びやネットワークの場です。研究員が東京アートポイント計画の森司ディレクターに詳しく聞いてみました。

Tokyo Art Research Lab, nicknamed "TARL", is a learning and networking forum for people who are or would like to be involved in art projects. A researcher has asked Tokyo Artpoint Project Director Tsukasa Mori about it in detail.

Official Web Site tarl.jp

Q1 What kind of place is it?

TARL (Tokyo Art Research Lab) is a laboratory investigating and researching various art projects in order to expand the potential of art projects. Through its books and courses, TARL disseminates information such as management know-how to help people "learn about, operate and research art projects".

Q2 What is its main activity?

TARL is a multiple-year school for training art project leaders, a school of "Thought, Skill and Dialogue". In this first school year, TARL's teaching emphasizes not practical skills, but knowledge and ways of thinking which form a basis for creating art projects.

Q3 Tell us what else it does!

In order to keep projects going for the long term, it is important not only to hone planning and management skills, but also to document activities accurately. Rather than conclude a project with a one-time-only event, we need to organize and preserve information, as well as reflect on, share and communicate the project's content. TARL is engaged in researching and developing a "digital archive" to facilitate this process.

『TOKYO PAPER for Culture』のバックナンバー、公開中！

Back issues of "TOKYO PAPER for Culture" are out now!

「東京の文化を知る、深める、高める」をコンセプトに、東京文化発信プロジェクトが年4回のペースで2013年から発行している『TOKYO PAPER for Culture』。バックナンバーを公式ウェブサイト上でご覧いただけます。

"TOKYO PAPER for Culture" is issued four times a year with the aim of knowing, deepening and enhancing Tokyo culture. Back issues can be viewed on the official website.



創刊号/001
東京の文化を研究する



002
祝祭のまち、東京へ。



003
東京文化の新しい幕開け



004
東京のあかつき この街の、自分の居場所



005
東京 ハレとケ物語

ブンプロのライブな情報をオンエア中！

Live BUNPRO information is on-air now!

渡辺 祐
Tasuku
Watanabe

J-WAVE (81.3FM)

『BUN-PRO TOKYO CREATIVE FILE』



オンエア日時：毎週土曜日 11時35分～11時45分
 (ワイド番組「RADIO DONUTS」内)

On Air: Saturdays, 11:35-11:45
 (A segment of the "RADIO DONUTS" show)

山田玲奈
Rena
Yamada

www.j-wave.co.jp/original/creativefile/

発行人後記 Issuer's Note



為末さんから教えてもらったのだけど、「スポーツ」の語源はラテン語の deportare (デポルターレ：生活から離れる)だそう、気分転換や楽しい気分させるものはすべてスポーツだったらしい。ホームチームを応援したり、近くの劇場や美術館でひいきの役者やお気に入りの作品を見つけたりすることは都会暮らしの醍醐味。さて、秋はスポーツと芸術のハイシーズン。天高く馬肥ゆる季節にちょっとだけ「生活から離れて」TCWであなたの好奇心を満たしてくださいね。(もりりゅう)

Dai Tamesue told me that word 'sport' comes from the Latin 'deportare' (to get away from daily life); apparently, all diversions and things that people enjoyed were considered sports. Supporting one's home team, watching a favorite actor at a nearby theater, or viewing a work that one loves at a local art museum are part of the real pleasure of living in the big city. Autumn is the best season for sport and the arts. With the sky clear and blue, and horses growing stout, let TCW take you away from mundane daily life for a while and help you satisfy your curiosity. (R.M.)

Research topic (6)

From 1964 to 2020

東京オリンピック1964を巡る印刷物

柳本客員研究員のコレクション(写真)より。まず、シンボルマークをデザインしたのは、世界デザイン会議にも参加したグラフィックデザイナーの亀倉雄策。日の丸に五輪マーク、開催地、西暦という極めてシンプルな構成のデザインだが、必要最低限の要素が組み合わされることで力強いデザインになっている。また、現在クリエイティブ・コモンズ*の考え方が広まりつつあるが、実はこの頃のオリンピックにおいてその考えは自明なことだった。五輪シンボルマークが印刷された煙草のパッケージや、オリンピックガイド本として、第一銀行(現みずほ銀行)が発行した小冊子『オリンピックの祭』など。このようにオリンピックのライセンスを共有財産としてシェアできる仕組みをつくることで、オリンピックを国民全体のお祭りとして盛り上げていこうという機運が浸透していたのが、この頃の特徴だった。

Various printed material concerning the 1964 Tokyo Olympics

From Mr. Yanagimoto's collection (photographs). Creative commons is becoming more prevalent now, but the concept was obvious at the Olympics even then. For example, there were cigarette packages with the Olympic rings printed on them, and the booklet Guidebook of Olympics, which was published by Daiichi Bank (current Mizuho Bank, Ltd.) as a guide to the Olympics. Creating a mechanism that allowed Olympic licenses to be shared as common property built up the excitement, ensuring that all citizens could enjoy it as a national festival.

研究テーマ⑥

1964から2020へ

モダンデザイン

東京オリンピック

国際的なスポーツイベントとモダンデザインの融合が実現したオリンピックとして記憶される1964年の東京オリンピック・パラリンピック(以下、「東京オリンピック」)。2020年、東京はふたたび夏季オリンピックを迎える。スポーツの国際舞台において、デザインはどのような役割を担ってきたのか。モダンデザインとオリンピックの関係について、デザイン史に詳しい柳本浩市さんを客員研究員として招き、話を伺った。

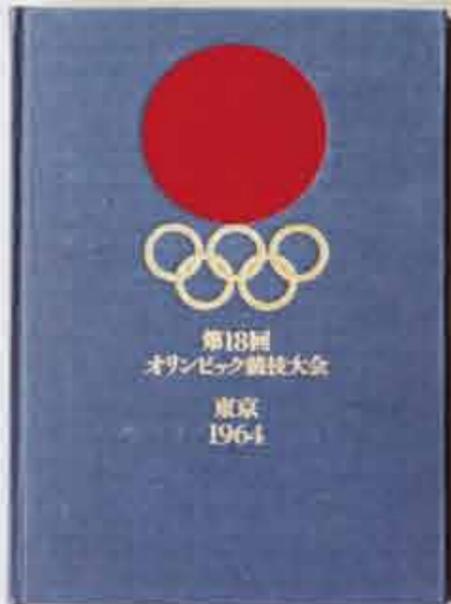
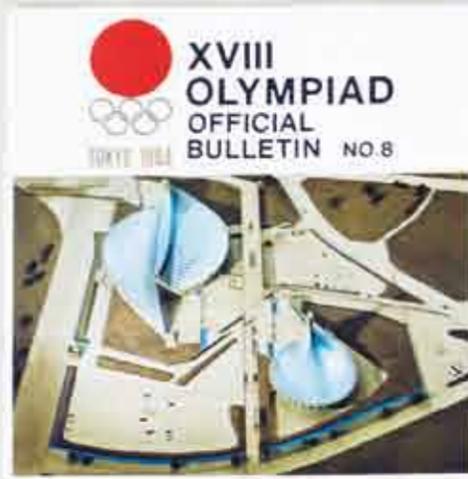
The 1964 Tokyo Olympics and Paralympics are remembered as the Olympics that blended an international sporting event with modern design. In 2020, Tokyo will once more host the Summer Olympics. What kind of role has design played on the global sporting stage? Koichi Yanagimoto has a wealth of knowledge about design history. We asked him about the relationship between modern design and the Olympics.



柳本浩市
Koichi Yanagimoto

デザインディレクター。膨大なデータやコレクションから社会学、心理学的に事象を読み取り、さらにそれを実ビジネスに繋げる。今までと違った形でデザインを基軸とした商品開発、マーケティング、ブランディングなどを行う。

Design Director. Uses his vast store of data and extensive collection to interpret events in sociological and psychological terms, linking his insights to actual business. Takes a completely new approach to product development, marketing and branding with a strong focus on design.



*クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを提供している国際的非営利組織とそのプロジェクトの総称。作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け

共通認識としてのデザイン

現在、日常的に目にするデザインの多くがここから始まったという意味で、1964年の東京オリンピックは今も語りぐさとなっています。19世紀後半に誕生し、それまで限られた人たちのものであったモダンデザインが、オリンピックを契機に大衆化し、その思想は一般の人々の暮らしに浸透していきました。そのキーとなる歴史的な出来事として、1964年の東京オリンピック、その4年前に東京で行われた世界デザイン会議がありました。

世界デザイン会議とは、24カ国から227名のデザイナー、建築家が参加して行われたデザインの国際会議のこと。ブルーノ・ムナリ、ルイス・カーン、ジャン・ブルーヴェラ、デザイン界の巨匠たちが来日。日本からも建築家の坂倉準三を代表に、丹下健三、柳宗理らそうそうたるメンバーが参加し、建築、グラフィック、インダストリアルデザイン、工芸、インテリ

アの垣根を越えて、総合的な視点からデザインの諸問題が議論されました。

そこで話し合われたことのひとつが、世界中の人々にとって共通認識となるデザインの必要性です。当時、国際的な場において、言語の壁を越えて共通認識となるサインデザインは存在しませんでした。だからこそ、4年後に東京で開催される東京オリンピックは、世界基準となるサインデザインをつくる絶好のタイミングだったのです。そこで用いられたのが、競技種目などのサインを抽象化することで、一目でわかるようにしたピクトグラム(写真①、②、③)。今では道路標識や非常口など公共の場で、誰もが慣れたピクトグラムですが、国際的なイベントの場で採用されたのは東京オリンピックが最初でした。

そのキーパーソンとなったのが、世界デザイン会議の中心人物の一人で、東京オリンピックでデザイン専門委員会委員長も務めた評論家の勝見勝。スポーツイベントにおいて世界で初めて体系的にデ



ピクトグラム
Pictogram



ローマオリンピック 1960
Rome Olympics 1960

歴史的背景を感じさせるクラシックで装飾的なデザインが採用された競技チケット。そのクラシカルなデザインは、モダンデザインが採用された東京オリンピックのものとは大きく異なるのがわかる。

A ticket for one of the events, featuring classic decorative design. This classical design differs from the modern design adopted for the Tokyo Olympics.



メキシコシティオリンピック 1968
Mexico City Olympics 1968

当時20代のデザイナー、ランス・ワイマンが中心となりピクトグラムをデザイン。モダンデザインと民族調のハイブリッドのピクトグラムは、メキシコの地域文化を背景にデザインされている。

These hybrid pictograms blending modern design with ethnic style were designed with Mexico's local culture in mind.

Modern Design TOKYO Olympics 1964

デザインされたピクトグラムは、勝見のもとに集まった若手グラフィックデザイナーらにより考案されました。

このときに考えられたピクトグラムは、オリンピックのサインデザインの原型としてその後も受け継がれていきました。

では、東京オリンピック以後はどうか？モダンデザインとは地域性を排除した、言い換えれば世界をフラットにみる方法ですが、東京オリンピックを頂点に、モダンデザインの流れは世界的に衰退していきます。オリンピックでも多様性のある民族文化を反映したイメージとのハイブリッドなデザインが登場し、やがてそれが主流となっていきました。

1964年の東京オリンピックで世界の最先端を示したように、2020年の東京オリンピックで、日本はこれからの社会が進むべき方向性を示していけるのか？その点においても、世界のまなざしは東京に向けられているといえるのではないのでしょうか。

Design as a shared understanding

The 1964 Tokyo Olympics are still a topic of conversation even now, in that a lot of the design we see every day began there. Emerging in the latter half of the 19th century, modern design had until then been something for only a select few, but the Olympics brought it to the masses and the concept went on to permeate the daily lives of the public. The key events in this process were the 1964 Tokyo Olympics and the World Design Conference held in Tokyo 4 years earlier. The World Design Conference was an international conference on design in which 227 designers and architects from 24 countries participated. Such luminaries of the design world as Bruno Munari, Louis Kahn and Jean Prouvé visited Japan. Participants from Japan itself included such eminent figures as Kenzo Tange and Sori Yanagi, not to mention the architect Junzo Sakakura, who discussed various design issues.

One of the things that participants talked

about was the need for design that would become a shared understanding for people worldwide. At the time, there were no common designs for signs that could be understood by people regardless of their native language. That is why the Tokyo Olympics 4 years later were the perfect opportunity to create designs for signs that would become a global standard. Abstract representations of the different sports were used to create pictograms that conveyed their meaning at a glance. These days, we are used to seeing pictograms on road signs and in other public places, but the Tokyo Olympics were the first international event where these were used.

The key figure in this was one of the individuals at the heart of the World Design Conference, critic Masaru Katsumi, who also served as chairman of the design committee for the Tokyo Olympics. The world's first systematically-designed pic-

tograms were devised by a team of young graphic designers under Mr. Katsumi's leadership.

The pictograms they thought up then became the prototypes for signs at the Olympics and they continued to be used thereafter. So what about after the Tokyo Olympics? Modern design eliminates regional characteristics; in other words, it views the world as uniform. The Tokyo Olympics marked its zenith and modern design has declined worldwide since then. Even at the Olympics, hybrid designs with images reflecting diverse ethnic cultures appeared and eventually became mainstream.

Just as it highlighted what was then cutting-edge worldwide at the 1964 Tokyo Olympics, I hope that Japan will show at the 2020 Tokyo Olympics the direction that society should take. In that sense too, one could probably say that the eyes of the world are on Tokyo.

Column

Where the master does his work

あのひとの現場

小沼純一の
研究室Laboratory of
Jun-ichi Konuma

小沼純一 / Jun-ichi Konuma

早稲田大学文学学術院教授。専門は音楽文化論、音楽・文芸批評。著書に『武満徹 音・ことば・イメージ』『オーケストラ再入門』『映画に耳を』ほか多数。編著に『武満徹エッセイ選』『高橋悠治対談選』ほか。NHK Eテレ『“スコラ”坂本龍一音楽の学校』のゲスト講師。



私の主な仕事は、音や音楽を中心とした批評。その対象はCDなどの音源やライブ以外に、映画や芝居、ダンス音楽、環境の中で聞こえる音といった分野まで多岐にわたります。言葉で音に触れることはできないので、文章化する時はただ情報を羅列するのではなく「この音の何が面白いのか」を読み手が惹き付けられるような表現を用いて構築し「聴いてみたい」と思ってもらうのが理想です。大学でも学生に、その言語作用について探ってもらっています。基本的に、私が大学の研究室に居るのは授業がある日。研究室では授業で使う資料を探したり、学生のレポートを見たりメールを確認したりしています。自宅や実家にも書庫があるので、ここに置いてある資料や音源はほんの一部。こういう仕事をしていると常に何らかの音楽を聴いていると思われがちですが、逆に私は聴かない時間を大切にしています。時には、

立ち寄ったスーパーで流れている音楽しか耳にしない日も。何も聴いていなくても雑踏や物音は日常的にあるから、ほかの音は要らない。そういう意味で私にとって、現場ではない場所はないと言えます。

執筆や大学での仕事以外に、約3年前から『Traditional+』*の企画・ナビゲートも担当していますが、書く作業と公演のプログラムを作る作業は違いますね。後者は現場でスタッフと顔を合わせ、触発されながらできることを見出していく行為です。一方で両者には共通点もあります。それは「宛先」を決めること。自分の得意分野でいいのか、相手の好みを考慮するか、不特定の人に贈るか…。アイデアは都度浮かびますが、それは届ける相手をはっきりさせるからこそ具体的にになります。今後このようなプログラムを通して、伝統音楽をあまり知らない世代が新たな世界に触れることで、興味の幅を広げてくれたら嬉しいです。

My main work as a critic focuses on sound and music in CD, live concerts, movies, theaters and environment. Since sound can't be experienced through words, I always try to use expressions to interest readers with the question "what is interesting about this sound" and make them think "I'd like to hear that", rather than simply enumerating bits of information. I also ask students to investigate this function of language. Basically, I'm in my office on days when I have classes at the university. There I look for materials to use in my classes, look over students' reports, check my e-mail, and so on. People tend to think that music critics are constantly listening to music, but actually I value the time not listening. Even not listening to anything, there are busy crowds and various sounds around me every day, so I don't need other sounds. So I could say that, for me, there is no place that isn't a workplace. Additionally, since three years ago I've been responsible for planning and navigating in the program "Traditional+" of the Tokyo Traditional Arts Program. The work of writing is different from planning a performance. In the latter, you discover what you can do while meeting and talking with people on site. On the other hand, the two have something in common: making clear "whom to address"—whether you stay in your own field, or take other people's tastes into account or present to unspecified people and so on. Ideas come up all the time, but we're only able to make them concrete once we determine clearly to whom to be directed. I'll be happy if the generation that isn't so familiar with traditional music can widen their interest by experiencing new fields through this type of program.

* プンプロ事業「東京発・伝統WA感動」の一環として、解説や実演を交えながら、ポップスや現代音楽など異分野との接点を通して、現代における伝統芸能の新しい魅力を伝えるプログラム。

Tokyo Creative / Akito Inui

Column

"There's Always the Koshu Kaido"

I wonder when I first heard the expression "there's always the Koshu Kaido". I'm pretty sure it came from a friend's father. Since then I've come to use it, and I've heard it from other friends from around the area. But to explain the expression to those who don't live near the Koshu Kaido highway and thus might not understand it, it means that if you're wandering around lost, sooner or later you'll come out on the Koshu Kaido and thus know where you are. I've used the expression when I've gotten lost in completely different regions to mean that you shouldn't worry, because eventually you'll find a highway or major street with which to orient yourself. Thus the expression has a sense of "Que sera sera". There are other Tokyo roads, Route 246, National Route 1, the Ome Kaido, or the Kanpachi #8 ring road, that could also serve in the expression, but "Koshu Kaido" is best, I think maybe because it's funkier. The name "Koshu" sounds funky, and unlike Route 246, there are no sophisticated restaurants or shops on it. After all, there's something funky about being lost, but it is this funkiness that makes the Koshu Kaido endearing to me.

I was born in the Karasuyama area of Setagaya, and grew up in Chofu, so the Koshu Kaido has always been part of my sphere of existence. My mother, who is from Karasuyama, tells of seeing athletes running along the Koshu Kaido in the 1964 Tokyo Olympic marathon. "Abebe was so fast!" she says, and there is a marker at the event's turning point in Chofu. My own memories of the Koshu Kaido involve motorcycle accidents, traffic tickets, and the long walk home along it after spending all my money drinking in Shinjuku. While in the expression, "There's Always the Koshu Kaido", the road is a haven in times of trouble, it has been the scene of troubles for me as well. I have also bicycled all the way out to Koshu, the ancient name for what is now Yamanashi Prefecture. Arriving in Kofu, the prefectural capital, I had a powerful and moving sense of what is in fact obvious: the "Road to Koshu" does indeed go all the way to Koshu. And every year, when autumn comes around, I'm reminded of the RC Succession song, "Koshu Kaido wa Mou Aki Nanosa (It's Already Autumn on the Koshu Kaido)".

困ったときの甲州街道 この言葉聞いたのは、いつのことだろう？ たしか友達のお父さんが言っていたように思う。それ以来、自分も使うようになって、地元の方が言っているのを聞いたこともある。

「困ったときの甲州街道」

トーキョークリエイティブ

文： 戌井昭人

Akito Inui

劇作家・小説家。1971年東京生まれ。変テコなパフォーマンス団体「鉄割アルバトロケット」で脚本等を担当。小説作品も発表し、『すっぽん心中』（新潮社）で川端康成文学賞受賞。近著は『どろにやいと』（講談社）。



それにしても、甲州街道沿い近辺に住んだことのない人は、この言葉、なんだかよくわからないと思うので、説明しますと、要は、道に迷ってもウロウロしていれば、そのうち甲州街道に出て道がわかるようになるよ、ということなのであります。

ぼくの場合、どこか地方に行つて道に迷ったときにも使うことがあって、そんなときは、いずれは大きな道や国道に出るから大丈夫だ、ということ、ケセラセラみたいな意味もあります。

そこでほかにも、困ったときの、246、国道一号线、青梅街道、環八、など、いろいろ当てはめてみたけれど、やはり甲州街道がベストで、どうしてなのか考えてみると、それは、甲州街道が、なんだか野暮ったいからなのではないかと思うのです。名前に「甲州」が入っているし、246なんかと比べると、洒落た店なんてなくて、パツとしない。つまり野暮は困っているのが似合うということなんです。

が、ぼくは甲州街道のそんなところが好きです。

ぼくは世田谷の烏山で生まれ、調布で育ち、いつも生活圏内に甲州街道がありました。烏山が地元の母は、子供の頃、甲州街道で東京オリンピックのマラソンを見たそう、で、「アベベ速かったよ」とよく話していました。また、調布にはマラソンの折り返し地点の記念碑があります。

自分の甲州街道での思い出は、バイクで事故ったり、交通違反で捕まったり、新宿で酒を飲んで金がなく歩いて帰ったり、困ったときの甲州街道は、困った思い出が多いところでもあります。ほかには、自転車山梨まで行ったこともあります。甲府に着いたときは、あたりまえだけど、甲州街道は本当に甲州まで続いているのだと実感、とても感動しました。

そして毎年、秋になると、RCサクセションの名曲、「甲州街道はもう秋なのさ」を思い出すのであります。